

# なごみの郷の理念

## 理 念

なごみの郷は、「地域で普通の生活をしつつ、未来に向かって希望の道を歩むこと」を大きな目標とします。

その目標を達成するために、なごみの郷はその名の由来通り「人の輪と心が和む場」を大切にし、「一人一人が夢と希望を持って生きること」を目指して、医療・行政機関等との緊密な連携のもとに、「絶えず創意工夫を積み重ね、最善を尽くすこと」を信条とします。

## 基本方針

- 1 人の輪、こころの和を大切にしたサービスに努めます
- 2 一人一人の権利と尊厳を守り、個人の自律及び自立を尊重することに努めます
- 3 利用者、家族、ボランティア、地域住民と一体となって推し進めます

## 行 動 方 針

私たちは、「社会参加」を支援の中心に行動します

私たちは、「ホスピタリティの精神」を大切に行動します

私たちは、当事者の「主体性」と「対話と共感」を持って行動します

私たちは、「学び」と「実践」の両輪で行動します

(この行動方針は令和4年8月に策定しました)

## なごみの郷主要施設



なごみの郷本館



グループホームしらさぎ



地域活動センターくろゆり



能美地域活動センターはまかぜ



能美地域活動センターはまかぜ  
山口分場

## 新型コロナ禍の中で考える



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、5月より季節性インフルエンザと同じ感染症の5類になりました。2019年～2023年の4年間、感染症予防のために「3密(密閉、密集、密接)」を避けて、換気、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種に心掛け、遠出の行事を控えてきました。対面接触に気を付けての黙食、アクリル板使用の面接、オンラインによる職員の研修参加等で今まで経験しなかった社会生活の構造変化、人流や物流の減速の社会情勢、変化が見えます。

また、味がわからない、匂わない、オンラインでは周りの様子がわからない等新型コロナウイルス感染症の後遺症によって人間の五感(視覚、臭覚、聴覚、味覚、触覚)に変調が起こればとも報道されました。パンデミックの中で新しい生活技術や機材ができましたが、体感を通しての人間関係づくりが脆弱になってはいないのでしょうか？

今年、第38回国民文化祭・第23回全国障害者芸術・文化祭「いしかわ百万石文化祭2023」(令和5年10月14日～11月26日)が開催されます。

全国規模の行事になごみの郷は何か参加できないだろうかと考え、「いしかわ百万石文化祭2023」のロゴマーク使用の参加貢献ができるのではと思い立ち申請しました。その結果、許可があり、「就労支援センターつばさ」がいり菓子、ぽんせんべい、シフォンケーキ製品に、「能美地域活動センターはまかぜ」が大麦ご飯の素製品にロゴマークシールを貼ることにしました。皆で少しでも協力できれば幸せに思います。そして、対面販売の中で五感を生かして人間関係づくりを再構築できればと思います。

なごみの郷は、基本方針に「利用者、家族、ボランティア、地域住民が一体になって推し進めます」とあります。安心、安全の住み慣れた地域で一人ひとりが主人公になって、自分らしく生きていくことのできる地域共生社会の実現のために一翼を担っていきたいと思います。

今後とも地域の皆様をはじめ行政や関係機関の方々のより一層のご理解とご支援をお願い申し上げます

令和5年9月

社会福祉法人なごみの郷  
理事長 荒 田 稔

## 目 次

|    |                                             |    |
|----|---------------------------------------------|----|
| I  | 法人の概要 .....                                 | 1  |
| 1  | 法人の沿革 .....                                 | 1  |
| 2  | 施設の規模 .....                                 | 2  |
| 3  | 組織・機構 .....                                 | 3  |
| 4  | 関係団体の動き .....                               | 4  |
| 5  | 職員体制 .....                                  | 5  |
| 6  | 令和4年度 特記事項 .....                            | 6  |
| II | 支援部.....                                    | 7  |
|    | 《就労継続支援B型事業》就労支援センターつばさ .....               | 7  |
| 1  | 事業の概要 .....                                 | 7  |
| 2  | 事業実績 .....                                  | 7  |
| 3  | 行事等の年間活動 .....                              | 9  |
| 4  | 就労支援 .....                                  | 9  |
| 5  | 作業の概要 .....                                 | 9  |
| 6  | 令和5年度に向けて .....                             | 15 |
|    | 《就労継続支援B型事業、地域活動支援事業》能美地域活動センターはまかぜ.....    | 16 |
| 1  | 事業の概要 .....                                 | 16 |
| 2  | 事業実績 .....                                  | 17 |
| 3  | 令和5年度に向けて .....                             | 22 |
|    | 《就労継続支援B型事業、地域活動支援事業》能美地域活動センターはまかぜ山口分場.... | 22 |
| 1  | 事業の概要 .....                                 | 22 |
| 2  | 事業実績 .....                                  | 23 |
| 3  | 令和5年度に向けて .....                             | 27 |
|    | 《共同生活援助事業（介護サービス包括型）》グループホームなごみ・しらさぎ.....   | 27 |
| 1  | 事業の概要 .....                                 | 27 |
| 2  | 年代別利用者内訳 .....                              | 28 |
| 3  | 利用状況 .....                                  | 28 |
| 4  | 主な日中の生活の場 .....                             | 28 |
| 5  | 利用者支援等 .....                                | 29 |
| 6  | 令和4年度の主な取り組み .....                          | 31 |
| 7  | 令和5年度に向けて .....                             | 31 |

|     |                                       |     |
|-----|---------------------------------------|-----|
|     | 《相談支援事業》相談支援センターなごみ・相談支援センターはまかぜ..... | 3 2 |
|     | 1 事業の概要 .....                         | 3 2 |
|     | 2 事業の実施期間 .....                       | 3 2 |
|     | 3 事業内容 .....                          | 3 2 |
|     | 4 事業実績 .....                          | 3 3 |
|     | 《生活介護事業、地域活動支援事業》地域活動センターくろゆり.....    | 3 6 |
|     | 1 事業の概要 .....                         | 3 6 |
|     | 2 事業利用状況 .....                        | 3 7 |
|     | 3 令和4年度の主な取り組み .....                  | 3 9 |
|     | 4 令和5年度に向けて .....                     | 3 9 |
|     | 《生活困窮者就労準備支援事業》のみワークポートりんく.....       | 4 0 |
|     | 1 事業の概要 .....                         | 4 0 |
|     | 2 事業実績 .....                          | 4 1 |
|     | 3 令和4年度の主な取り組み .....                  | 4 1 |
|     | 4 令和5年度に向けて .....                     | 4 1 |
|     | 《地域交流推進事業》 .....                      | 4 2 |
|     | なごみ祭り mini.....                       | 4 3 |
| III | 令和4年度の決算状況.....                       | 4 5 |
|     | 1 資金収支計算書 .....                       | 4 5 |
|     | 2 事業活動計算書 .....                       | 4 6 |
|     | 3 貸借対照表 .....                         | 4 7 |
| IV  | 各種委員会報告.....                          | 4 8 |
|     | 1 職場内研修委員会 .....                      | 4 8 |
|     | 2 虐待防止等委員会 .....                      | 4 8 |
|     | 3 学生実習 .....                          | 4 8 |
| V   | その他.....                              | 4 9 |
|     | 1 研修・各種団体会議への出席.....                  | 4 9 |
|     | 2 関連団体への参加 .....                      | 5 1 |
|     | 3 なごみの郷苦情解決第三者委員.....                 | 5 2 |

## I 法人の概要

### 1 法人の沿革

| 年     | 月  | 摘 要                                                                                                           |
|-------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成 10 | 12 | 「社会福祉法人なごみの郷」設立発起人会発足                                                                                         |
| 11    | 8  | 社会福祉法人なごみの郷設立 初代理事長 廣川 俊雄氏 就任                                                                                 |
| 12    | 4  | なごみの郷本館新築<br>精神障害者社会復帰施設「地域生活支援センターなごみ」<br>「福祉ホームなごみ」「通所授産施設つばさ」開設                                            |
| 13    | 3  | 二代目理事長 西出 外次 氏 就任                                                                                             |
| 14    | 4  | 精神障害者「グループホーム弥生荘」開設                                                                                           |
|       | 10 | ホームヘルプサービス事業開始                                                                                                |
| 15    | 4  | なごみの郷敷地内にしらさぎ館新築<br>精神障害者「グループホームしらさぎ」「地域交流センターしらさぎ」<br>小規模通所授産施設「フレンズくろゆり」開設<br>レスパイトケア事業・精神障害者地域生活サポート事業開始  |
|       | 8  | 三代目理事長 木村 正行 氏 就任                                                                                             |
| 18    | 10 | 「福祉ホームなごみ」より障害福祉サービス事業「ケアホームなごみ」<br>に事業変更・経過的地域生活支援センター事業（小松市委託）開始<br>「地域生活支援センターなごみ」より<br>相談支援事業（小松市委託）に事業変更 |
| 19    | 3  | 相談支援事業（小松市委託）廃止                                                                                               |
|       | 4  | 「地域活動支援センターくろゆり」「相談支援センターなごみ」<br>「ホームヘルプステーションなごみ」開設<br>「通所授産施設つばさ」より「就労支援センターつばさ」に事業変更                       |
|       | 5  | 「グループホームしらさぎ」より「グループホームケアホームしらさぎ」<br>に事業変更                                                                    |
| 20    | 11 | 「地域活動支援センターくろゆり」より「地域活動センターくろゆり」<br>に事業変更・「相談支援センターなごみ」増築                                                     |
|       | 12 | 「地域活動センターくろゆり」改築                                                                                              |
| 21    | 8  | 四代目理事長 水腰 久美子 氏 就任                                                                                            |
|       | 10 | 法人設立 10 周年記念式典開催                                                                                              |
| 22    | 4  | 「グループホームケアホームしらさぎ」より「ケアホームしらさぎ」<br>に事業変更                                                                      |
|       | 8  | 五代目理事長 小杉 修 氏 就任                                                                                              |
| 24    | 3  | 「能美地域活動センターはまかぜ」を就労支援センターつばさの<br>サテライト事業所として開設                                                                |
|       | 8  | 六代目理事長 荒田 稔 氏 就任                                                                                              |

|      |    |                                                                                   |
|------|----|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 25   | 4  | 「能美地域活動センターはまかぜ」を就労継続支援（Ｂ型）事業と地域活動センターとして開業                                       |
|      | 8  | 「相談支援センターはまかぜ」を能美地域活動センターはまかぜ内に開設                                                 |
| 26   | 4  | 「ケアホームなごみ」「ケアホームしらさぎ」を「グループホームなごみ」「グループホームしらさぎ」に事業変更                              |
| 30   | 4  | 「地域活動センターくろゆり」自立(生活)訓練事業を休止                                                       |
|      | 11 | 「ホームヘルプステーションなごみ」居宅介護事業を休止                                                        |
| 令和 1 | 8  | 「能美地域活動センターはまかぜ山口分場」を能美地域活動センターはまかぜのサテライト事業所として開設<br>相談事業所「相談支援センターはまかぜ」を山口分場内に移転 |
| 2    | 4  | 「能美地域活動センターはまかぜ山口分場」を就労継続支援（Ｂ型）事業所と地域活動センターとして開業                                  |
|      | 8  | 「グループホーム弥生荘」共同生活援助事業を廃止                                                           |
|      | 11 | 「地域活動センターくろゆり」自立（生活）訓練事業を廃止                                                       |
| 3    | 7  | 「相談支援センターはまかぜ」自立生活援助事業を開業                                                         |
| 4    | 4  | 「のみワークポートりんく」を開業して就労準備支援事業（能美市委託公益事業）を開始                                          |
|      | 10 | 「ホームヘルプステーションなごみ」を廃止                                                              |

## 2 施設の規模

|                               |                       |                                    |
|-------------------------------|-----------------------|------------------------------------|
| 社会福祉法人なごみの郷                   |                       | 〒923-0851 小松市北浅井町 123 番地           |
| ・敷地面積                         |                       | 2,415.00 m <sup>2</sup>            |
| ・建物 3 棟総床面積（構造・面積 木造一部 2 階建て） |                       | 1,017.24 m <sup>2</sup>            |
| グループホームなごみ                    | 306.19 m <sup>2</sup> | ・就労支援センターつばさ 348.85 m <sup>2</sup> |
| 相談支援センターなごみ他                  | 160.83 m <sup>2</sup> | ・グループホームしらさぎ 89.43 m <sup>2</sup>  |
| 地域交流センターしらさぎ                  | 104.34 m <sup>2</sup> | ・ポンせん加工室 24.00 m <sup>2</sup>      |
| 地域活動センターくろゆり                  |                       | 〒923-0863 小松市不動島町 甲 22 番地          |
| ・敷地面積（甲 21 番地 駐車場含む）          |                       | 339.59 m <sup>2</sup>              |
| ・建物床面積（構造・面積 木造 2 階建て）        |                       | 211.89 m <sup>2</sup>              |
| 能美地域活動センターはまかぜ                |                       | 〒929-0105 能美市中ノ江町と 104-1 番地        |
| ・敷地面積                         |                       | 1,817.50 m <sup>2</sup>            |
| ・建物床面積（構造・面積 鉄筋コンクリート 1 階建て）  |                       | 389.18 m <sup>2</sup>              |
|                               | 倉庫                    | 32.17 m <sup>2</sup>               |
| 能美地域活動センターはまかぜ山口分場            |                       | 〒929-0126 能美市山口町 ホ 17-1 番地         |
| ・敷地面積                         |                       | 2,311.87 m <sup>2</sup>            |
| ・建物床面積（構造・面積 鉄筋コンクリート 1 階建て）  |                       | 519.00 m <sup>2</sup>              |
|                               | 機械室他                  | 113.78 m <sup>2</sup>              |

### 3 組織・機構

#### (1) 令和5年度法人の役員等名簿（令和5年4月1日現在）

##### 役員

|           |           |          |
|-----------|-----------|----------|
| 理事長 荒田 稔  | 理事 北岡 和代  | 理事 宮吉 正明 |
| 理事 三上 紀美恵 | 理事 村中 豊   | 理事 高田 茂  |
| 監事 千田 純一  | 監事 川畑 真智子 | —        |

以上理事6名監事2名

#### (2) 顧問

|        |       |   |
|--------|-------|---|
| 水腰 久美子 | 木崎 馨山 | — |
|--------|-------|---|

以上2名

#### (3) 評議員選任解任委員

|             |            |            |
|-------------|------------|------------|
| 監事委員 川畑 真智子 | 外部委員 細川 勝正 | 外部委員 新谷千代子 |
| 外部委員 高見 京子  | 事務局委員 瀬戸俊文 | —          |

以上5名

#### (4) 評議員

|       |        |       |       |
|-------|--------|-------|-------|
| 中島 捷純 | 中村 良正  | 岡田 和昌 | 木村 衣里 |
| 鈴木 淑  | 樫村 優紀世 | 坂田 恵子 | —     |

以上7名

#### (5) 苦情受付

|           |       |       |
|-----------|-------|-------|
| 苦情解決第三者委員 | 北岡 和代 | 井村 千里 |
|-----------|-------|-------|

|         |      |         |       |
|---------|------|---------|-------|
| 苦情解決責任者 | 高田 茂 | 苦情受付担当者 | 瀬戸 俊文 |
|---------|------|---------|-------|

### 4 関係団体の動き

| 年度    | 摘 要                                                                                  |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 昭和48年 | 小松保健所（現南加賀保健福祉センター）管内精神障害者家族会「くろゆり会」発足                                               |
| 昭和63年 | 小松市不動島町に小規模作業所「くろゆり作業所」開設                                                            |
| 平成5年  | ボランティアグループ「くろゆり作業所を支える会」発足                                                           |
| 平成6年  | 小松保健所のメンタルヘルスボランティア講座始まる。<br>ボランティアグループ「メンタルフレンズつばさ会」発足<br>小松市末広町に第2作業所「ワークハウスつばさ」開設 |
| 平成7年  | 小松能美こころの街づくり推進協議会開催<br>ボランティアグループ「みのり会」発足                                            |



|         |                                                       |
|---------|-------------------------------------------------------|
| 平成 8 年  | 「ワークハウスつばさ」小松市小馬出町に移転<br>ボランティアグループ「こだま会」発足           |
| 平成 9 年  | 「小松能美精神障害者社会復帰施設法人設立準備の会」発足                           |
| 平成 10 年 | ボランティアグループ「ハーモニー」発足                                   |
| 平成 11 年 | ボランティアグループ「ののはな」発足                                    |
| 平成 12 年 | 小松能美メンタルヘルスボランティア連絡協議会発足                              |
| 平成 14 年 | ボランティアグループ「かよう会」発足                                    |
| 平成 15 年 | ボランティアグループ「のぞみの会」発足                                   |
| 平成 16 年 | メンタルヘルスボランティア 8 グループを統一して、「小松能美メンタルヘルスボランティア友の会」として発足 |
| 令和 2 年  | 「小松能美メンタルヘルスボランティア友の会」を<br>「メンボラ T o M o の会」に改名する。    |

| 職 員 体 制                               |                 |             |                              |                       | 令和5年4月1日現在          |  |
|---------------------------------------|-----------------|-------------|------------------------------|-----------------------|---------------------|--|
| 所 属 及 び 職 名                           |                 |             | 氏 名                          | 備 考                   | 福祉関係有資格             |  |
| 理 事 長                                 |                 |             | 荒田 稔                         |                       | 精神保健福祉士             |  |
| 所 長(施設長)                              |                 |             | 村中 豊                         |                       | 社会福祉施設長             |  |
| 部 長(管理者)                              |                 |             | 高田 茂                         |                       | 精神保健福祉士・社会福祉士       |  |
| 次 長(管理者)                              |                 |             | 瀬戸 俊文                        |                       | 精神保健福祉士・社会福祉士       |  |
| 次 長(管理者)                              |                 |             | 堂前 美春                        |                       | 精神保健福祉士             |  |
| 次 長(管理者)                              |                 |             | 中村 有紀                        |                       | 精神保健福祉士・保育士         |  |
| 本部                                    | 管 理 者           |             | 瀬戸 俊文                        | 兼 GH管理者 勤怠事務他         | 精神保健福祉士・社会福祉士       |  |
|                                       | 経理事務            |             | 武田 春江                        | 兼 GH世話人               |                     |  |
| 就 労 支 援 セ ン タ ー                       | 管 理 者           |             | 中村 有紀                        | 兼 なごみ相談管理者、GH世話人      | 精神保健福祉士・保育士         |  |
|                                       | 就 労 継 続 支 援 B 型 | サービス管理責任者   | 金谷 葉月                        |                       | 精神保健福祉士・社会福祉士・公認心理師 |  |
|                                       |                 | 生活支援員       | 西東 健太                        |                       |                     |  |
|                                       |                 | 目標工賃達成指導員   | 酒井 真由美                       |                       |                     |  |
|                                       |                 |             | 八田 竜一                        |                       |                     |  |
|                                       |                 | 職業指導員       | 山田 紗貴                        |                       | 管理栄養士               |  |
|                                       |                 |             | 泉 律子                         |                       |                     |  |
|                                       |                 |             | 奥村 恭子                        |                       |                     |  |
| なごみ・しらさぎ<br>グループホーム                   | 管 理 者           |             | 瀬戸 俊文                        | 兼 本部管理者               | 精神保健福祉士・社会福祉士       |  |
|                                       | 共 同 生 活 援 助     | サービス管理責任者   | 番 千恵子                        |                       | 栄養士                 |  |
|                                       |                 | 生活支援員       | 富樫 尚子                        |                       | 介護福祉士               |  |
|                                       |                 |             | 武田 春江                        | 兼 法人本部                |                     |  |
|                                       |                 | 世話人         | 北島 千裕                        |                       | 精神保健福祉士・社会福祉士       |  |
|                                       |                 |             | 中山 裕子                        |                       |                     |  |
|                                       |                 |             | 村中 豊                         |                       |                     |  |
|                                       |                 | 世話人(遅番専属)   | 中村 有紀                        | 兼 つばさ、なごみ相談管理者        | 精神保健福祉士・保育士         |  |
|                                       | 打越 賢一           |             | 17:00～20:30<br>交代勤務(日曜～土曜)   |                       |                     |  |
|                                       | 近藤 悠            |             |                              | 派遣                    |                     |  |
| 以下の3事業所 管 理 者                         |                 |             | 高田 茂                         | 兼 のみワークポートりんく管理者      | 精神保健福祉士・社会福祉士       |  |
| 地 域 活 動 セ ン タ ー                       | 生 活 介 護         | サービス管理責任者   | 松本 里絵                        |                       | 精神保健福祉士             |  |
|                                       |                 | 生活支援員       | 三宅 奈津子                       |                       |                     |  |
|                                       |                 |             | 山口 智恵美                       |                       | 保育士                 |  |
|                                       |                 |             | 深谷 敏                         |                       | 精神保健福祉士             |  |
|                                       | 地域活動支援センター      | 看 護 師       | 吉田 裕美子                       |                       | 看護師                 |  |
| 能 美 地 域 活 動 セ ン タ ー                   | 就 支 援 継 続 B 統 型 | サービス管理責任者   | 山口 充子                        |                       | 介護福祉士・保育士           |  |
|                                       |                 | 生活支援員       | 杉森 早希                        | 兼 のみワークポートりんく就労準備支援員  |                     |  |
|                                       |                 | 目標工賃達成指導員   | 南出 真里江                       |                       | 社会福祉士・介護福祉士         |  |
|                                       |                 | 職業指導員       | 藤岡 哲哉                        |                       |                     |  |
|                                       | 地域活動支援センター      | 就労継続B型事業と兼務 |                              |                       |                     |  |
| 能 美 地 域 活 動 セ ン タ ー                   | 就 支 援 継 続 B 統 型 | サービス管理責任者   | 江端 安代                        |                       | 介護福祉士               |  |
|                                       |                 | 生活支援員       | 海老原 綾                        |                       | 社会福祉士               |  |
|                                       |                 | 目標工賃達成指導員   | 前出 真                         |                       | 精神保健福祉士・社会福祉士       |  |
|                                       |                 | 職業指導員       | 前田 信夫                        |                       |                     |  |
|                                       |                 | —           |                              |                       |                     |  |
|                                       |                 | —           |                              |                       |                     |  |
| 相談支援センター<br>なごみ                       | 管 理 者           | 中村 有紀       | 兼 つばさ管理者・GH世話人               | 精神保健福祉士、保育士           |                     |  |
|                                       | 相談支援専門員         | 中西 雅恵       |                              | 主任介護支援専門員・介護福祉士       |                     |  |
|                                       |                 | 土山 信英       | 兼 自立生活援助事業 地域生活支援員           | 社会福祉士・介護支援専門員         |                     |  |
| 相談支援センター<br>はまかぜ                      | 管 理 者           | 堂前 美春       | 兼 主任相談支援専門員<br>兼 自立生活援助支援サビ管 | 精神保健福祉士               |                     |  |
|                                       | 相談支援専門員         | 西本 美由紀      |                              | 精神保健福祉士・社会福祉士・介護支援専門員 |                     |  |
| 自立生活援助事業 地域生活支援員                      |                 | 土山 信英       | 兼 相談なごみ相談支援専門員               | 社会福祉士・介護支援専門員         |                     |  |
| 【公益事業】<br>就労準備支援事業<br>のみワークポート<br>りんく | 管 理 者           | 高田 茂        | 兼 就労準備支援員                    | 精神保健福祉士・社会福祉士         |                     |  |
|                                       | 就労準備支援員         | 杉森 早希       | 兼 はまかぜ生活支援員                  |                       |                     |  |
|                                       |                 | 石井 康子       |                              | 介護支援専門員・介護福祉士         |                     |  |

令和4年度 特記事項

固定資産の取得

・車輛運搬具

|                      |           |
|----------------------|-----------|
| 4月 送迎用8人乗りワゴン車（くろゆり） | 583,000 円 |
| 業務用7人乗りミニワゴン（相談はまかぜ） | 598,234 円 |

・器具及び備品

|                     |           |
|---------------------|-----------|
| 4月 エアコン（くろゆり作業室）    | 154,000 円 |
| 6月 エアコン（食堂喫茶調理スペース） | 143,000 円 |

・ソフトウェア

|                 |           |
|-----------------|-----------|
| 4月 ソフトウェア（栄養管理） | 132,000 円 |
|-----------------|-----------|

大型修繕

|                          |             |
|--------------------------|-------------|
| ・11月 はまかぜ屋上屋根修繕（はまかぜS48） | 4,070,000 円 |
| いり菓子加工室 床シート張り替え（つばさ）    | 215,710 円   |

その他

|                    |          |
|--------------------|----------|
| ・12月 ほほえみ基金（北國新聞社） | 50,000 円 |
| 能美地域活動センターはまかぜ寄付金  | 以上       |



はまかぜ カメの切り絵

## Ⅱ 支援部

### 《就労継続支援B型事業》 就労支援センターつばさ

#### 1 事業の概要

就労支援センターつばさは令和2年4月に就労移行支援事業を廃止し、就労継続支援B型事業所（定員20人）として新たなスタートを切り、培った就労支援スキルと各関係機関との繋がりのもと、一般就労を目指す方への支援を継続的に行っている。また、様々な作業を通して適正作業の把握や個別の面談を細やかに行うことで、利用者それぞれのステップアップを図っている。今後も心身面の変化における知識の習得と関係機関との密な連携のもと、ストレングスを意識した作業提供・就労支援に努める。

- (サービス内容) 心身面で一般就労が難しい方や、一般就労の経験はあるが体力や年齢から企業等に雇用されるのが困難な方、一定年齢に達している方に対し、通所により就労や生産活動の機会を提供する。  
また、一般就労に必要な知識、能力が高まった利用者を次のステップに向けて支援する。
- (定員) 20人
- (利用料) 590円/日（個人の所得によって上限がある）
- (サービス提供日時) 毎週月～金曜日（午前8時30分～午後5時まで）  
販売会、行事等により土・日・祝日有り
- (利用期間) なし
- (作業内容) 菓子製造、喫茶、厨房、委託事業（エコステーション管理等）
- (その他) 昼食・送迎サービス

#### 2 事業実績

##### (1) 登録者の推移

###### ①人数

単位：人

| 利 用 月             | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 |
|-------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 就労継続（B型）（定員 20 人） | 33  | 33  | 33  | 33  | 33  | 33  |

| 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計  | 月平均 | 前年度  |
|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 33   | 33   | 33   | 33  | 33  | 33  | 396 | 33  | 32.5 |

###### ②市町村登録者数

単位：人

| 市町村名  | 小松市 | 能美市 | 加賀市 | 福井市 | 合 計  |
|-------|-----|-----|-----|-----|------|
| 延 人 数 | 348 | 24  | 12  | 12  | 396  |
| 構成比率  | 88% | 6%  | 3%  | 3%  | 100% |

③年代別登録者数（令和 5 年 3 月 31 日現在）

単位：人

| 年 齢 | 10 代 | 20 代 | 30 代 | 40 代 | 50 代 | 60 代～ | 計   |
|-----|------|------|------|------|------|-------|-----|
| 男 性 | 0    | 5    | 1    | 2    | 4    | 4     | 1 6 |
| 女 性 | 0    | 3    | 5    | 3    | 4    | 2     | 1 7 |
| 計   | 0    | 8    | 6    | 5    | 8    | 6     | 3 3 |

（２）延利用者・利用率の推移

就労継続支援（Ｂ型）事業

| 開所月     | 4 月   | 5 月   | 6 月   | 7 月   | 8 月   | 9 月   |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 延利用者（人） | 372   | 350   | 416   | 378   | 379   | 402   |
| 開所日数（日） | 21    | 22    | 25    | 20    | 22    | 22    |
| 稼働率     | 88.6% | 79.5% | 83.2% | 94.5% | 86.1% | 91.4% |

| 10 月  | 11 月  | 12 月  | 1 月   | 2 月   | 3 月   | 合 計   | 月平均   |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 423   | 402   | 344   | 304   | 345   | 391   | 4,506 | 375.5 |
| 23    | 22    | 20    | 19    | 19    | 22    | 257   | 21.4  |
| 92.0% | 91.4% | 86.0% | 80.0% | 90.8% | 88.9% | 87.7% |       |

（３）平均工賃の推移

単位：円

| 支給月  | 4 月     | 5 月     | 6 月     | 特別賞与    | 7 月     | 8 月     | 9 月     |
|------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 総支給額 | 197,952 | 205,448 | 197,952 | 186,500 | 205,868 | 186,649 | 209,688 |
| 平均工賃 | 7,070   | 7,084   | 6,754   | 5,652   | 7,099   | 6,021   | 6,764   |
| 支給人数 | 28 人    | 29 人    | 31 人    | 33 人    | 29 人    | 31 人    | 31 人    |

| 10 月    | 11 月    | 12 月    | 年末賞与    | 1 月     | 2 月     | 3 月     | 年度平均   |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|
| 221,400 | 171,113 | 185,750 | 378,000 | 148,510 | 199,750 | 177,940 |        |
| 7,142   | 5,190   | 5,992   | 11,455  | 5,304   | 6,888   | 6,355   | 7,979  |
| 32 人    | 33 人    | 31 人    | 33 人    | 28 人    | 29 人    | 28 人    | 30.3 人 |
| 32 人    | 33 人    | 31 人    | 33 人    | 28 人    | 29 人    | 28 人    | 30.3 人 |

令和 4 年度は 6 件の問い合わせがあり、見学・体験を経て新規登録された方は 1 人であった。また、事業所変更 1 人、利用実績がなく退所となった方が 2 人であった。今年度は当事業所を利用されている方々の相談と作業支援の充実の為、新規利用を制限させて頂いた。その為、令和 3 年度と比べ新規登録者は少なかったものの、つばさ内でのステップアップを図れた利用者が増加し、稼働率も昨年度の 84.2%から 87.7%と大幅に増加した。

令和 5 年度は、利用者の十分な作業量の確保と工賃支給額UPの為の取り組みの他、現在利用者募集中である作業の特徴を当事者や相談支援専門員など関係機関にも随時伝えることで、作業支援や作業を通した居場所を求める方々に情報提供及び作業提供出来るよう努める。  
(文責：中村)

### 3 行事等の年間活動

生活のリズムを整え、気分転換と交流の機会をもち、社会性の幅を広げることを目的として活動している。今年度も COVID-19 感染対策として、食事の持ち帰りや手指消毒や換気、三密を避けるなど予防を徹底して行事を行った。今年度は、例年に比べて行事数は少なく、利用者からの声も少なかった。また、企画をしても希望者が 0 人の時もあり、利用者がイベントとして、余暇活動として何を求めているのかを考える必要がある。

単位：人

| 開催月  | 活 動 内 容    | 参加人数 | 開催場所         |
|------|------------|------|--------------|
| 4 月  | 花見         | 7    | 芦城公園         |
| 8 月  | スイカ割り & 射的 | 10   | なごみの郷        |
| 11 月 | ハーバリウム教室   | 2    |              |
|      | 紅葉を見に行こうよう | 7    | 那谷寺          |
| 12 月 | 忘年会        | 11   | なごみの郷        |
| 1 月  | 新年会・初詣     | 10   | なごみの郷・菅生石部神社 |
| 3 月  | 防災訓練（2 回）  | 18   | なごみの郷        |

### 4 就労支援

令和 4 年度は、ハローワーク、障害者就業・生活支援センター、相談支援専門員、ご家族、行政・医療機関等と連携をとり計 4 人の就労支援を行った。就労支援特別プログラムは、ハローワーク同行、個別 SST（社会生活技能訓練）、就労応援セミナーの同行を行った。また、就労準備として（株）リクルートの Knowbe ソフトを活用しながら、ビジネスマナーを中心の個別 SST や就労パスポートの作成を行い、就労準備性を高めた。

就労支援職員は、南加賀就労支援強化連絡会就労支援勉強会、障害者雇用連絡会議、就労支援に関わる研修等の参加を通して情報交換を行い知識の向上に努めた。

（令和 5 年度に向けて）

就労支援プログラムに関して、チャレンジワークなどで職場体験を行い、就労模擬体験の個別支援や、ビジネスマナーの講師を招いてのビジネスマナー講座をしながら一般就労に向けて支援していく。また、一般就労希望だが、体力に自信がない、症状が安定していない、仕事のイメージがつかない等でなかなか一歩を踏み出せない利用者にも、他機関と連携しながら就労支援を行っていく。そして障害者就業・生活支援センター、ハローワーク等と連携し、求人探しから、面接、就職、そしてその後安定した勤務として定着するよう支援する。

（文責：金谷）

### 5 作業の概要

菓子製造販売部門

（令和 4 年度の主な動き）

コマニー株式会社、公立小松大学、小松市民病院、小松ソフィア病院と注文販売やイベント販売に向けて話し合いを重ねたことで、定期的にイベントや販売会等に参加出来るようになり、販路拡大に繋げることが出来た。また、これまで繋がりがあったケーキハウスマルフジとの綿密な打ち合わせにより、令和 4 年 11 月の新店舗のオープン

に合わせ、新商品として販売する商品の材料の一部にいりがしを使用して頂けるようになった他、小松産大豆のきな粉も定期的に卸すこととなった。

今年度は、令和3年度から試作を繰り返していたいりがしの新商品：ポップコーン（きな粉味）を商品化し、販売を開始することが出来た。また、材料持ち込みでいりがし加工が出来るところが全国的に数少なく、県内外からアレルギーを持っているお子様、ペット用のおやつとしての加工注文を受ける機会が増えている。

#### <常設販売>

| 販 売 場 所                          | 販売商品                       |
|----------------------------------|----------------------------|
| 安宅ビューテラス、空の駅こまつぶっさんや（R5.3月で販売終了） | 加賀いりがしセット、いりがし各種<br>弁慶ぼんせん |
| 夢や、平和堂小松店、JAあぐり道の駅こまつ木場潟、JAグリーン  | いりがし、ぼんせん各種                |
| 小松市社会福祉協議会                       | いりがし、ぼんせん各種                |

#### <注文販売>

企業・団体 売上計：125,160円

| 企業・団体名   | 企業・団体名       |
|----------|--------------|
| コマニー株式会社 | 小松市民病院       |
| 小松ソフィア病院 | メンボラ ToMo の会 |

#### <企画販売>

いりがし、雛いりがし等 注文（いりがし、ぼんせんべい、菓子セット）

計43件：98,730円

※注文数が昨年度の9件から今年度は43件と大幅に数が増え、売り上げも昨年度の22,470円に比べ、約4倍となった。背景には、小松市・能美市の保育園等への電話での営業活動に加え、実際に足を運び、直接お話できたことが良かったと考えられる。

（令和5年度に向けて）

全国的にCOVID-19が落ち着いてきている為、令和4年度に参加したイベントだけでなく、これまで中止となっていた地域のイベント等の販売会の機会が増えてくることが予想される。イベントに参加することで売り上げを増やし、利用者の意欲に繋げていきたい。また、材料持ち込みでいりがし加工が出来ることをSNS、新聞等を通じてより多くの方に情報発信し、新たな顧客を増やしていきたい。

（文責：西東）

#### 喫茶部門

（令和4年度の主な取り組み）

COVID-19の感染予防の為、金銭の受け渡しはトレーを使用、机・イスの消毒の徹底等、対策を講じながら営業した。喫茶内では、利用者や職員向けに季節のデザートやカラメル入りプリン、コーヒープリンと様々な味のプリンを提供し、少しでも喫茶を利用して頂けるようにと工夫を凝らした。令和5年2月からは「ストロー提供は希望者のみ」とプラスチック問題にも取り組み始めた。喫茶作業利用者が休み等で作業に入れない時は、臨時で他の利用者に呼びかけを行ったことで、普段は喫茶担当でない利用者も

自分のタイミングで気軽に体験することが可能となった。

シフォンケーキの注文は、小松市内の児童クラブや病院、個人注文等の外部注文の他、くろゆりやはまかぜ、はまかぜ山口分場の月1回の注文により、月曜から木曜日までの定期的な製造・袋詰め作業を増やすことができた。また新たにココアマーブル味を試作し商品化へ向けて進めた。

(令和5年度に向けて)

令和5年度は、シフォンケーキ製造、販売について、新たにココアマーブル味を販売していく。喫茶の営業については、利用者が安定して作業に従事できるようにサポートしながら、出張コーヒーや喫茶ウッディを地域に向けてPRし、作業時間を充実して過ごせるよう取り組みを行っていく。

(文責：北島)

給食配食弁当部門

(令和4年度の主な取り組み)

- ・弁当注文について、個別に(配達・高齢者用等・価格は相談可)対応し、「味付けや食感が大変いい」ということから口コミが広がり、ご近所同士、親戚間でご注文を頂いた。また、なごみ弁当があることで「大変心強く、助かっている」というお声も頂いた。
- ・利用者との関わり方については各担当者との情報共有を密に行い、一人ひとりに合わせて対応した。また、厨房作業に従事している利用者は特定の人が多いことから新しい利用者を確保していくために、新しい作業として弁当配達作業を設けた。
- ・ふれあい弁当事業での提供食数は198食であった。彩りや柔らかさがちょうどよい、とお声を頂いた。
- ・年4回の『栄養だより』での情報提供で季節に合わせた健康情報をお届けした。
- ・年1回の昼食利用者へアンケートを実施した。  
結果は、昼食全体について約33%の方に満足いただいた。主食・副食・汁物(館内のみ提供)については、約70%の方に満足いただいたが、その他の意見の中には、「たまに固いことがある・たまに薄いことがある・食感がいまいち」などの意見をいただいた。  
印象に残った料理については、丼料理全般、魚料理全般に好意的意見が多く、特にシーフードカレー・タコライス・ガパオライス、鮭料理が人気だった。  
昼食に望むものに関しては、味付けと季節感のある献立がとくに重要と感じておられる方が多いことが分かり、新メニューや季節の食材を取り入れての献立の見直しを行うことで、食事提供に生かし、顧客満足度の向上に繋げた。
- ・年2回の身体測定の実施で利用者の健康状態を把握した。
- ・月1回の厨房内害虫駆除を実施した。

(令和5年度に向けて)

- ・一般注文について、地域で食事を必要とする方々には既存の配達ルート上であれば可能な限りで対応していく。特別弁当の注文については、利用者の昼食を優先し(午後の作業の活力向上のため)、職員と利用者での提供可能食数(60食程度)の範囲であれば対応していく。  
地域の方々になごみの郷を知って頂くために販売会に積極的に参加していく。
- ・利用者との関わり方は各担当者との情報共有を密に行い、一人ひとりに合わせて対応する。また、作業能力に合わせた工賃評価により、個々のスキルアップにも繋げていく。
- ・ふれあい弁当事業の継続と、利用者自身が食事や健康に興味を持ち、生活習慣を見直す



- きっかけになるような栄養だよりによる情報提供を、発行回数を増やして継続していく。
- ・年1回の昼食利用者へアンケートを実施し、その結果を食事提供に生かし、顧客満足度の向上につなげる。
  - ・年2回の身体測定の実施により利用者の健康状態を把握する。
  - ・月1回の厨房内害虫駆除を実施する。

(文責：山田)



いりかし各種



シフォンケーキ



令和 4 年夏号

日ごとに暑さが増していましたね。夏バテしないように、暑さで食欲がおち生活リズムがくずれやすい夏こそ、規則正しく栄養バランスのとれた食生活を心がけましょう。

## 脱水に注意しましょう！

### ○なぜ 水分補給が必要なの？

人の体重の約60%は水分です。水分には、体内で栄養素を運んだり、不要なものを汗や尿として体外に出したり、体温を調節したりする働きがあります。体重の3%以上の水分が失われると、これらの機能に影響がでるといわれています。

体内 60%  
水分



### ★水分補給のポイント★

- ・汗をかく前から飲むようにしましょう
- ・こまめに飲みましょう
- ・アルコールやジュース類ではなく、お茶か水を飲むようにしましょう



## スポーツドリンクの種類と選び方



### ○スポーツドリンクの選び方

アイソトニック飲料とハイポトニック飲料の2種類があります。

#### 【アイソトニック飲料】

- ・安静時、水分が体に吸収されやすい

#### 【ハイポトニック飲料】

- ・運動して、汗をたくさんかいたとき、水分が吸収されやすい

### こんな時におすすめ！

☑ 安静時、汗の量が少ないときの水分補給

☑ 運動前後のエネルギー補給に

### こんな時におすすめ！

☑ たくさん汗をかいたときの水分補給

(運動中におすすめ)



アクエリアス

ダカラ

アクエリアス

アミノバリュー

ラフススポーツ

多

糖 質

少

なごみの郷 就労支援センターつばさ 厨房 山田

昼食販売実績推移表

単位：食

|         | 令和２年度  | 令和３年度  | 令和４年度  |
|---------|--------|--------|--------|
| 給 食     | １，３４４  | １，３７１  | １，６０４  |
| 館内(弁当)  | ４，３３２  | ３，９６１  | ４，１８２  |
| くろゆり    | ８６２    | ９３５    | １，２４１  |
| はまかぜ    | ４０９    | ３３０    | ３４２    |
| 山口分場    | ７７８    | ４４１    | ５１１    |
| 夢 や     | ３８２    | ２７８    | １７２    |
| その他(一般) | １，９１７  | ２，９５９  | ２，５４８  |
| 合 計     | １０，０２４ | １０，２７５ | １０，６００ |

## 委託作業部門

## 〈小松市からの委託〉

令和４年５月 ふれあい福祉課より小松市内の２３９町内会への数種類の書類、ポスター、世帯数分のパンフレットを仕分けて紐でしばる作業を請け負った。

令和５年３月 納税課より口座振替用紙折り込み作業を請け負った。

## 〈企業からの委託〉

引き続き、沖田産業（株）のコード袋詰め作業、トウエイ工業株式会社より、段ボールカット作業を請け負った。

令和５年１月から株式会社九谷陶泉の九谷焼転写貼り作業を新しく請け負った。

## 〈古紙リサイクルステーション〉

小松市との委託契約を更新し「古紙リサイクルステーション３号店」の管理運営を行った。昨年と比べると新聞の取扱量が増加した。ゴールデンウィークなどの大型連休に増加し、祝日の開所日に運搬を行うこともあった。また昨年に引き続き、取り扱えないリサイクル品や一般ゴミの放置、古着の物色等の処分や整理整頓の作業も継続して行った。

年間を通して市役所の環境推進課と連携し、見回りするなどマナー違反の対応を強化したが状況が改善されることは無く、地域の方々へ周知する方法が今後も課題となった。

古紙リサイクルステーション取扱量

単位：k g

| 種 類        | 令和３年度  | 令和４年度  |
|------------|--------|--------|
| 段ボール・牛乳パック | ８，９３０  | ８，５１０  |
| 新 聞        | ５，９７０  | ６，４９０  |
| 雑誌・チラシ     | １４，２６０ | １５，２９０ |
| 合 計        | ２９，１６０ | ３０，２９０ |

## 〈アクリルタワシ〉

アクリルタワシの販路拡大に向け、福祉の店「夢や」、小松市社会福祉協議会に営業し商品を納品することが出来た。また各販売会にアクリルタワシを持参し PR することで、はまかぜからの注文以外に売り上げを出すことができ、作業を得意とする利用者が無理

なく取り組める作業として提供できた。

〈リサイクル分別〉

なごみの郷館内の缶・ビン・ペットボトルを毎週火曜日と金曜日に分別を行い、月 1 回「サービスセンターあしだ」へ運搬している。

(令和 5 年度に向けて)

- ・小松市より委託されている“古紙リサイクルステーション 3 号店”の利用マナーを小松市と連携して周知徹底を図りながら運営管理を行う。在留外国人や障害を持っている方等、どなたでも分かるような表記をしていく。
- ・つばさの環境にあった作業を提供しつつ、力が付いてきた利用者には菓子や厨房、喫茶など他の作業へ移行できるように引き続き支援する。

(文責：北島)

令和 4 年度作業部門別収支内訳書

| 科目名    | 給 食       | 喫 茶       | 菓 子       | アクリル<br>たわし他 | リサイクル<br>分別 | エコステ<br>清掃 | その他の<br>委託 | 合計        |
|--------|-----------|-----------|-----------|--------------|-------------|------------|------------|-----------|
| 収入の部計① | 5,075,100 | 1,022,040 | 1,067,330 | 46,706       |             | 600,000    | 291,016    | 8,102,192 |
| 前年度収入  | 4,881,645 | 794,030   | 1,078,428 | 50,407       |             | 600,000    | 328,912    | 7,733,422 |
| 材料費    |           |           |           |              |             |            |            |           |
| 材料仕入高  | 3,496,034 | 400,066   | 395,062   | 14,104       |             |            |            | 4,305,266 |
| 労務費    |           |           |           |              |             |            |            |           |
| 利用者工賃  | 1,070,958 | 527,034   | 502,867   | 80,744       | 46,750      | 300,186    | 355,547    | 2,884,086 |
| 経費     |           |           |           |              |             |            |            |           |
| 福利厚生費  | 26,400    |           |           |              |             |            |            | 26,400    |
| 消耗品費   | 174,161   | 25,253    | 47,264    |              |             | 18,608     | 13,619     | 278,905   |
| 水道光熱費  | 231,693   |           | 49,870    |              |             |            |            | 281,563   |
| 通信運搬費  |           |           | 4,350     |              |             |            |            | 4,350     |
| 修繕費    |           |           |           |              |             |            |            | 0         |
| 雑 費    |           |           |           |              |             |            |            | 0         |
| 租税公課   | 152,142   | 33,041    | 33,569    | 1,672        |             |            | 16,221     | 236,645   |
| 支出の部計② | 5,137,658 | 989,518   | 1,028,522 | 96,122       | 46,750      | 318,794    | 401,567    | 8,018,931 |
| 前年度支出  | 4,955,966 | 812,752   | 1,052,036 | 43,575       | 51,500      | 317,357    | 505,341    | 7,738,527 |
| 余剰金①－② | △62,558   | 32,522    | 38,808    | △49,416      | △46,750     | 281,206    | △110,551   | 83,261    |

## 6 令和 5 年度に向けて

### 基本方針

- ・利用者の自己実現の為「安心→自信→回復」の過程を大切に、不安定な体調の中でも安心して足を運び、次のステップに向けての学びと自信が得られる居場所を目指します。
- ・誰もが住み慣れた町で自分らしく暮らしていけるよう、互いに思い合い、分かち合い、助け合える地域づくりに努めます。

## 重点実施事項

- ① 安心が自信に繋がる声掛けと、利用者特性に合わせた個別目標達成度の視覚化に取り組みます。
- ② 利用者の作業の充実と満足感が得られる作業提供の為、自主製品の販路拡大を利用者・職員が一体となり計画的に行います。
- ③ 地域の行事や活動に利用者・職員共に積極的に参加し、対話を重ねることで地域課題の発見に努めます。

(文責：中村)

## 《就労継続支援B型事業、地域活動支援事業》 能美地域活動センターはまかぜ

### 1 事業の概要

能美地域活動センターはまかぜは、就労継続支援B型事業（定員20人）・地域活動支援センター事業（定員10人）を行う事業所として11年目を向かえた。

今年度も、COVID-19の影響を受け年間を通じ感染リスクに配慮した運営となった。利用実績については、新規利用登録の動きが引き続き鈍く、地域の利用者ニーズにマッチした就労事業として今後検討が求められる年度となった。作業に関しては、同じくCOVID-19や物価高騰の影響で内職や自主製品販売の伸びが見込めず、また主作業である印刷作業は地域のイベント中止や、社会活動の停滞により、チラシ、広報誌等を中心に予算達成には至らなかった。ただ、利用者延べ人数の減により一人当たりの年間平均工賃は上がっている。

一年の後半は、COVID-19の終息につれ徐々に地域行事や活動も動き出し、作業請負や利用者の地域での活動も上向きになってきたと評価する。

#### (1) 就労継続支援B型事業

|          |                                                                                                 |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (サービス内容) | 心身面で一般就労に困難さを抱える方に、福祉サービスにおける就労・生産活動などの機会の提供と知識・能力の向上、一般就労に向けての必要な支援をする。                        |
| (定員)     | 20人                                                                                             |
| (利用料)    | 1日611円（個人の所得によって上限がある）                                                                          |
| (利用期間)   | なし                                                                                              |
| (作業内容)   | 印刷業務：名刺、年賀状、機関誌、チラシ類、封筒 他<br>内職業務：梱包作業、箱作業、封詰め作業、他<br>自主製品：大麦ご飯の素、カブッキー・動物ぽち袋、手芸品<br>施設外就労：清掃作業 |
| (その他)    | 昼食・送迎サービス                                                                                       |

#### (2) 地域活動支援センター事業

|          |                                                          |
|----------|----------------------------------------------------------|
| (サービス内容) | 心身面で日常生活に不安を抱える方に生活相談、創作、余暇活動などを通じて、その方らしい地域生活への活動を支援する。 |
| (定員)     | 10人                                                      |

|        |                                                           |
|--------|-----------------------------------------------------------|
| (利用料)  | 4時間以下 2 6 6 円 4時間を超えて6時間以下 3 4 6 円<br>6時間を超えた場合 4 0 5 円   |
| (利用期間) | なし                                                        |
| (内 容)  | 生活相談、創作・余暇活動（パソコン、レク行事〔カラオケ食事会、散策等〕）、生産活動、又ほっと一息の居場所として活用 |
| (その他)  | 昼食・送迎サービス                                                 |

## 2 事業実績

### (1) 登録者の推移

#### ①人数

単位：人

| 利 用 月               | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 |
|---------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 就労継続支援（B型）（定員 20 人） | 24  | 24  | 25  | 25  | 25  | 26  |
| 地域活動支援事業（定員 10 人）   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   |

| 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合 計 | 月平均  |
|------|------|------|-----|-----|-----|-----|------|
| 26   | 26   | 26   | 26  | 26  | 26  | 305 | 25.4 |
| 2    | 2    | 2    | 2   | 2   | 2   | 24  | 2.0  |

#### ②市町村登録者数（令和 5 年 3 月 31 日現在） 単位：人

| 市町村名  | 能美市   | 小松市   | その他  | 合 計  |
|-------|-------|-------|------|------|
| 延 人 数 | 166   | 132   | 7    | 305  |
| 構成比率  | 54.4% | 43.3% | 2.3% | 100% |

#### ③年代別登録者数（令和 5 年 3 月 31 日現在）

単位：人

| 年齢 | 10 代 | 20 代 | 30 代 | 40 代 | 50 代 | 60 代～ | 計  |
|----|------|------|------|------|------|-------|----|
| 男性 | 0    | 2    | 2    | 9    | 6    | 1     | 20 |
| 女性 | 1    | 1    | 3    | 1    | 0    | 0     | 6  |
| 計  | 1    | 3    | 5    | 10   | 6    | 1     | 26 |

### (2) 延利用者・利用率の推移

#### 就労継続支援B型事業

単位：人

| 開 所 月   | 4 月   | 5 月   | 6 月   | 7 月   | 8 月   | 9 月   |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 延べ人数（人） | 263   | 262   | 310   | 254   | 231   | 237   |
| 開所日数（日） | 23    | 23    | 25    | 22    | 24    | 22    |
| 稼働率     | 57.2% | 57.0% | 62.0% | 57.7% | 48.1% | 53.9% |

| 10 月  | 11 月  | 12 月  | 1 月   | 2 月   | 3 月   | 合 計   | 月平均   |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 236   | 235   | 245   | 187   | 228   | 239   | 2,927 | 243.9 |
| 23    | 23    | 23    | 21    | 21    | 23    | 273   | 22.8  |
| 51.3% | 51.1% | 53.3% | 44.3% | 54.3% | 52.0% | 53.6% |       |

地域活動支援センター事業

| 開 所 月   | 4 月  | 5 月  | 6 月  | 7 月  | 8 月  | 9 月  |
|---------|------|------|------|------|------|------|
| 延人数（人）  | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    |
| 開所日数（日） | 23   | 23   | 25   | 22   | 24   | 22   |
| 稼 働 率   | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

| 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月  | 2 月  | 3 月  | 合 計 | 月平均  |
|------|------|------|------|------|------|-----|------|
| 0    | 0    | 0    | 0    | 2    | 0    | 2   | 0.2  |
| 23   | 23   | 23   | 21   | 21   | 23   | 273 | 22.8 |
| 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0%  |      |

（３）平均工賃の推移

単位：円

| 支 給 月 | 4 月     | 5 月     | 6 月     | 特別賞与   | 7 月     | 8 月     | 9 月     |
|-------|---------|---------|---------|--------|---------|---------|---------|
| 総支給額  | 203,137 | 177,985 | 172,290 | 19,045 | 144,716 | 154,936 | 189,895 |
| 平均工賃  | 11,285  | 9,368   | 8,615   | 1,058  | 7,236   | 9,114   | 11,868  |
| 支給人数  | 18 人    | 19 人    | 20 人    | 19 人   | 20 人    | 17 人    | 16 人    |

| 10 月    | 11 月    | 12 月    | 1 月     | 2 月     | 3 月     | 年度末賞与   | 年度平均   |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|
| 179,928 | 189,310 | 228,000 | 215,980 | 157,770 | 134,500 | 440,300 |        |
| 10,584  | 11,312  | 13,412  | 12,705  | 9,281   | 7,912   | 23,174  | 10,485 |
| 17 人    | 17 人    | 17 人    | 17 人    | 17 人    | 17 人    | 19 人    | 17.8 人 |

令和４年度の新規登録者は５人、登録終了者は３人（自宅療養２人、他サービス利用事業１人〔介護保険〕）であった。今年度後半は見学や体験者も増え、COVID-19 終息の出口に向かうように利用希望者の動きは感じられた。

（文責：山口）

印刷部門

（令和４年度 of 主な取り組み）

〈名刺〉

今年度は能美市の民生委員の一斉改選が行われたため、９７件という多くの注文をいただいた。ホームページやInstagramなどのQRコードを追加して欲しいという依頼や、デザイン性を求める注文が増えてきた。ひとつひとつの要望に添えるよう丁寧に対応した。

〈年賀状〉

前年度に比べて年賀状印刷枚数は減少したが、注文件数は増加した。注文の傾向として枚数を減らす、今年から年賀状を出さないという声が多く、年賀状離れが加速している中で、新規顧客を１９件獲得できた。特に町内の方からの注文が増えたことは来年度の期待も込め大変嬉しい。これまでの顧客や新規顧客へきめ細やかに対応し、来年度の注文にも繋がるよう迅速かつ丁寧に対応した。

〈自主製品〉

COVID-19 で制限されていた観光客なども徐々に回復したこともあってか、観光地での

ぼち袋・しおりの売り上げは1.5倍に増えた。飽きがこないよう定期的にぼち袋・しおりのデザイン変更を行った。また、SNSの宣伝により、外部からぼち袋40セットの注文をいただいた。少なからず宣伝効果があったと感じる。また、昨年から試作を進めていたカードサイズのカレンダーを作成しサンプルを関係機関に配布し営業した。その結果、関係機関より100枚の注文があった。また、小松地区理容組合様より、各理容店舗から合計3,320枚のカードサイズカレンダーの注文をいただいた。

#### 〈他印刷〉

能美市より封筒印刷、JDDパンフレット、日本赤十字社献血粗品、イベントチラシ、パープルリボン作成、認知症サポートカード作成、生活困窮者・DV相談カード作成、つながるマップ作成、街フェスチラシ作成、虐待防止パンフレット印刷、社会福祉協議会より、成年後見人チラシやパンフレットの作成、小松市よりイベントチラシ印刷、川北町より自殺予防啓発ミニチラシ・粗品作成、その他・団体よりメンボラ ToMo 会会報、小松市特別支援教育振興会機関紙、北浅井町公民館報、蝶屋福祉だより、なごみの郷概要・封筒印刷、カードサイズカレンダー作成、個人様よりプログラム作成、チケット作成の注文などをいただいている。

| 項 目        | 令和3年度    | 令和4年度    | 項 目      | 令和3年度    | 令和4年度    |
|------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 年賀状        | 13,456 枚 | 11,492 枚 | 北浅井町公民館報 | 3,860 枚  | 4,500 部  |
| 名刺         | 12,540 枚 | 21,910 枚 | 会報・機関誌   | 5,650 部  | 7,950 部  |
| ぼち袋・しおりセット | 184 個    | 268 個    | 封筒各種     | 13,108 枚 | 24,770 枚 |
| チラシ・パンフレット | 5,250 部  | 14,353 部 | なごみの郷概要  | 110 部    | 50 部     |
| 川北町自殺予防粗品  | 2,000 個  | 2,000 個  | なごみ通信    | 2,122 枚  | 1,815 枚  |

#### （令和5年度に向けて）

作業の流れをわかりやすくマニュアル化し、誰もが取り組みやすいような仕組み作りを進めていくと共に、利用者本人の特性や体調に応じた働きやすい環境作りに努め、スキルアップを目指していく。そして、これまでいただいている仕事を大切にしながら、新たな顧客を獲得できるよう営業は欠かさず行い、売り上げアップを目指していく。

（文責：南出）

#### 内職部門

##### （令和4年の主な取り組み）

##### 〈㈱前田ケース〉

今年度は内職部門の柱であったケーキBOX作業が、物価高騰の影響を受け資材の仕入れが困難となり廃盤となった。慣れた作業でもあり効率も良くスムーズに作業に取り組むことができ、多くの利用者が携われる作業だっただけに、非常に残念であった。

##### 〈㈱ADポイント〉

今年度は菓子箱フタ閉め作業、菓子箱折り作業、仕切り板作成、DM封入作業を行った。定番の作業であるが、利用者自身も、しっかり検品しながら仕上げてもらう事で、責任を持って取り組むことが出来た。停滞していた社会活動も徐々に再開の兆しを見せ、中でも菓子箱折り作業は増加した。



| 作業内容    | 令和3年度  | 令和4年度   |
|---------|--------|---------|
| DM封入作業  | 3,167枚 | 3,824枚  |
| 菓子箱折り作業 | —      | 13,300個 |

〈Amazon 納品代行〉

本年度より、食品はじめ、化粧品やペットフード、自動車の部品や衛生用品など幅広い商品を扱い、梱包し出荷作業を行った。

〈河村（株）〉

本年度より、菓子の箱折り作業を中心に行った。作業工程が多く難しいような印象があったが、新しい作業ということもあり意欲的に取り組む方が多く、何とかこなすことが出来た。

〈（株）九谷陶泉〉

令和5年度に開催される「いしかわ百万石文化祭2023」の小松市の取り組みとして委託を受け水転写のシールを豆皿に張り付ける作業を請負った。商品はガチャガチャのカプセルに入り、県内のホテルや店舗にて購入することが出来る。根気と指先の巧緻性が必要とされる作業であるが、その点で強みのある利用者はコツコツと取り組んでいる。

（令和5年度に向けて）

各取引先との連携・協力を密にし、より信頼をもってもらえるよう正確な検品や早期の納品などのニーズに応える努力をしていきたい。また、利用者の生産能力向上のために、作業準備時間の短縮や目標量と実績を見える化することで作業意識・意欲の向上など、環境づくりを重視していきたい。

（文責：山口）

物販部門

（令和4年度の主な取り組み）

〈大麦ご飯の素〉

J A小松市様より「大麦ご飯の素」商品販売の業務を引き継ぎ、3年目となり昨年度以上の売り上げに向けて、新たに小松市内の保育園にも納品し販売促進に力を入れてきた。またSNSなどから個人様の問い合わせや注文もあった。主な販売場所は、道の駅こまつ木場潟、J Aあぐり、J A営農企画、能美グリーン、根上屋などでの販売及び、企業商店からの注文であった。昨年度よりパックは伸びているが、精麦のみの注文が減っている。

利用者の作業は、精麦された大麦から不純物を手作業で取り除く選別作業や、計量し、専用袋に入れる計量作業、商品配達や作業場を清掃する作業など、多くの工程に関わる利用者の幅を広げた。

| 項 目       | 令和3年度     | 令和4年度     |
|-----------|-----------|-----------|
| 大麦ご飯の素 商品 | 1,028 パック | 1,451 パック |
| 大麦加工品のみ   | 470 k g   | 250 k g   |

〈自主製品〉

令和２年度より手芸品の販売を行っているが、ラインナップをリニューアルしながら「ティッシュカバー」「髪飾り」「ハーバリウムボールペン」「マスクチャーム」「ストラップ」と種類を増やした。販売会で対面販売する事により、買い手側のニーズを直接聞き、購買意欲が沸く製品作りに生かすことで販売数を少しずつ増やせている。また、作業としても楽しく意欲的に取り組む事が出来ている為、今後も販路拡大に努めていきたい。

（令和５年度に向けて）

大麦ご飯の素作業は、姉妹品として考案した「無添加まる麦」「大麦ご飯の素お試しパック」の販路拡大に向け取り組んでいきたい。また大麦を使ったコラボレーション等を考えられるよう、地域商店、企業へ営業をしていきたい。また手芸品全般においてデザインや素材を吟味しながら、より使用感の良い魅力ある製品を提供できるように、日々の試行錯誤の中で楽しみながら制作していきたい。

（文責：山口）

施設外就労

（令和４年度の主な取り組み）

〈特別養護老人ホーム ボニジュール根上苑〔入浴清掃作業〕〉

利用者の工賃と一般就労等に向けたスキルを向上させる為、施設外就労への取り組みを行った。今年度も年間を通じて作業にしっかりと利用者が入ることができた。また、丁寧な清掃を作業時間内に終えるよう自己点検を行いながら清掃作業に取り組んだ。また、COVID-19の感染対策をしっかりと行い作業に取り組んだ。

（令和５年度に向けて）

継続的に利用者が安定して従事し、作業の幅や質向上、従事日数が増えていくよう今後も支援する。また取り組める利用者の方も増やしていきたい。

（文責：山口）

令和４年度作業部門別収支内訳書

単位：円

| 科目名    | 販売 他    | 印刷        | 大麦        | ボニジュール | 前田ケース   | その他内職他  | 合計        |
|--------|---------|-----------|-----------|--------|---------|---------|-----------|
| 収入合計①  | 223,387 | 4,159,116 | 1,059,364 | 60,000 | 173,461 | 373,474 | 6,048,802 |
| 当期材料   | 42,754  | 2,813,864 | 328,081   | 0      | 0       | 0       | 3,184,699 |
| 利用者工賃  | 135,870 | 1,562,318 | 513,290   | 51,875 | 135,534 | 211,905 | 2,610,792 |
| 消耗品費   | 0       | 0         | 0         | 0      | 0       | 0       | 0         |
| 外注加工費  | 0       | 0         | 0         | 0      | 0       | 2,400   | 2,400     |
| 租税公課   | 5,863   | 111,242   | 27,802    | 1,575  | 4,552   | 9,801   | 160,835   |
| 支出合計②  | 184,487 | 4,487,424 | 869,173   | 53,450 | 140,086 | 224,106 | 5,958,726 |
| 余剰金①-② | 38,900  | △328,308  | 190,191   | 6,550  | 33,375  | 149,368 | 90,076    |

その他

（令和４年度の主な取り組み）

- ・地域交流の障がい福祉の理解、啓発の一環として行ってきたイベントや、販売会関係はCOVID-19により引き続き中止や縮小を余儀なくされたが、徐々に地域の企業主催のイベントに参加でき、能美市主催の「ボランティアフェスティバル」「ぼくらの街フェス」

の行われ販売会の機会をいただくことができた。また、赤い羽根共同募金助成事業の一環として能美市福祉施設活動助成事業で「影絵ショー&影絵ワークショップ」を開催し、中ノ江町内の方との交流イベントを催した。地域の方とのつながり、顔の見える関係づくりの大切さを改めて実感できる機会であった。

- ・ COVID-19 により、行事の企画も難しく控えた方が良いような世の中の流れも引き続きあったが、利用者への楽しみの提供として感染予防対策をしっかりと行いながら、利用者が実行委員になり年間を通して季節感のある行事を取り入れ、日々の生活の潤いと親睦を深めた。また SST（社会生活技能訓練）、グループワークや、就労セミナーなど一般就労等に向けた社会性の幅を広げる活動も実施してきた。

（文責：山口）

### 3 令和5年度に向けて

#### 基本方針

- ・ 思いやりの心を第一に、利用者に寄り添う専門的なサービスを提供し、利用者から選ばれる事業活動を進めます。
- ・ 利用者の仲間づくりの場として、お互いに研鑽し成長しあえる活動を進めます。
- ・ 利用者が、地域で偏見や差別なく安心して豊かに暮らしていけるよう、地域共生社会の一役を担えるよう進めます。

#### 重点実施事項

- ① サービス機能の強みを発信しながら、新たな利用者の受け入れと工賃向上、作業メニューの拡充を進めます。
- ② 利用者同士の交流や、抱える地域課題など共有できる場を大切にしながら、地域福祉活動への発信できるよう、当事者発表や交流事業を担っていきます。
- ③ 障がい者理解促進、社会参加のため、地域の行事、活動に参画すると共に、関係作りを育みます。

（文責：山口）

## 《就労継続支援B型事業、地域活動支援事業》 能美地域活動センターはまかぜ山口分場

### 1 事業の概要

今年度も COVID-19 が流行し続け、石川県の感染者が少ない時期に受入れの見学・体験利用を進める状況であった。また就労支援を行う事業所として作業の確保を心配したが、年間を通して提供していくことが出来た3年目だった。利用者の生活の安定、作業への取り組み、地域行事の参加など、感染対策をして行う一年ではあったが、事業活動を継続し開所することが出来たことは幸いであった。

#### （1）就労継続支援B型事業

|          |                                                                          |
|----------|--------------------------------------------------------------------------|
| （サービス内容） | 心身面で一般就労に困難さを抱える方に、福祉サービスにおける就労・生産活動などの機会の提供と知識・能力の向上、一般就労に向けての必要な支援をする。 |
| （定 員）    | 20人                                                                      |

(利用料) 1日566円(個人の所得によって上限がある)  
 (利用期間) なし  
 (作業内容) 内職業務 : 梱包作業、箱作業、箱入作業、部品袋入作業他  
 自主製品 : デコレーションクリップ、ミニ封筒他  
 施設外就労 : 清掃作業  
 (その他) 昼食・送迎サービス

## (2) 地域活動支援センター事業

(サービス内容) 心身面で日常生活に不安を抱える方に生活相談、創作、余暇活動などを通じて、その方らしい地域生活への活動を支援する。  
 (定員) 10人  
 (利用料) 4時間以下 266円 4時間を超えて6時間以下 346円  
 6時間を超えた場合 405円  
 (利用期間) なし  
 (内容) 生活相談、創作・余暇活動(パソコン、レク行事〔カラオケ食事会、散策等〕)、生産活動、又ほっと一息の居場所として活用  
 (その他) 昼食・送迎サービス

## 2 事業実績

### (1) 登録者の推移

#### ①人数

単位：人

| 利用月               | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-------------------|----|----|----|----|----|----|
| 就労継続支援(B型)(定員20人) | 20 | 21 | 21 | 21 | 21 | 21 |
| 地域活動支援事業(定員10人)   | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  |

| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  | 月平均  |
|-----|-----|-----|----|----|----|-----|------|
| 21  | 21  | 21  | 21 | 21 | 22 | 252 | 21.0 |
| 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 6   | 0.5  |

#### ②市町村登録者数

単位：人

| 市町村名 | 能美市   | 小松市   | その他  | 合計   |
|------|-------|-------|------|------|
| 延人数  | 156   | 72    | 24   | 252  |
| 構成比率 | 61.9% | 28.6% | 9.5% | 100% |

#### ③年代別登録者数(令和5年3月31日現在)

単位：人

| 年齢 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代～ | 計  |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|------|----|
| 男性 | 0   | 2   | 3   | 3   | 8   | 0    | 16 |
| 女性 | 0   | 0   | 0   | 3   | 3   | 0    | 6  |
| 計  | 0   | 2   | 3   | 6   | 11  | 0    | 22 |

(2) 延利用者・利用率の推移

就労継続支援B型事業

| 開 所 月    | 4 月   | 5 月   | 6 月   | 7 月   | 8 月   | 9 月   |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 利用人数 (人) | 229   | 223   | 232   | 233   | 247   | 222   |
| 開所日数 (日) | 22    | 21    | 24    | 22    | 24    | 22    |
| 稼働率      | 52.0% | 53.1% | 48.3% | 53.0% | 51.5% | 50.5% |

| 10 月  | 11 月  | 12 月  | 1 月   | 2 月   | 3 月   | 合 計   | 月平均   |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 211   | 224   | 209   | 179   | 208   | 254   | 2,671 | 222.5 |
| 22    | 22    | 23    | 21    | 21    | 25    | 269   | 22.4  |
| 48.0% | 50.9% | 45.4% | 42.6% | 49.5% | 50.8% | 49.6% |       |

地域活動支援センター事業

| 開 所 月    | 4 月  | 5 月  | 6 月  | 7 月  | 8 月  | 9 月  |
|----------|------|------|------|------|------|------|
| 延人数 (人)  | 9    | 11   | 11   | 12   | 8    | 7    |
| 開所日数 (日) | 22   | 21   | 24   | 22   | 24   | 22   |
| 稼働率      | 4.1% | 5.2% | 4.6% | 5.5% | 3.3% | 3.2% |

| 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合 計  | 月平均  |
|------|------|------|-----|-----|-----|------|------|
| 0    | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 58   | 4.8  |
| 22   | 22   | 23   | 21  | 21  | 25  | 269  | 22.4 |
| 0%   | 0%   | 0%   | 0%  | 0%  | 0%  | 2.2% |      |

(3) 平均工賃の推移

単位：円

| 支 給 月 | 4 月     | 5 月     | 6 月     | 特別賞与    | 7 月     | 8 月     | 9 月     |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 総支給額  | 189,275 | 199,997 | 198,618 | 326,484 | 192,920 | 189,448 | 183,076 |
| 平均工賃  | 10,515  | 11,111  | 11,034  | 17,183  | 10,718  | 10,525  | 9,636   |
| 支給人数  | 18 人    | 18 人    | 18 人    | 19 人    | 18 人    | 18 人    | 19 人    |

| 10 月    | 11 月    | 12 月    | 1 月     | 2 月     | 3 月     | 年度末賞与   | 年度平均   |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|
| 180,623 | 165,090 | 186,050 | 159,950 | 200,870 | 194,330 | 490,500 |        |
| 10,035  | 9,172   | 10,336  | 8,886   | 11,159  | 10,228  | 25,816  | 11,942 |
| 18 人    | 18 人    | 18 人    | 18 人    | 18 人    | 19 人    | 19 人    | 18.3 人 |

令和4年度の新規登録者は2人、登録終了者は2人（トライアル雇用1人、高齢者サービス1人）であった。前年度に引き続き COVID-19 の流行の為、見学・体験の受け入れが難しい時期もあったが、感染対策をし、各関係機関と連携しニーズに沿った利用に繋がるよう努めた。

(文責：江端)

## 企業委託作業部門

(令和4年度の主な取り組み)

### 〈三和物産(株)〉

葬儀用品の作業を行う。アメニティセットや箱の組立、セット物の詰め作業、お香の袋詰めやケース詰めなど多種多様な内職作業を年間通して請け負うことができた。さらに今年度は以前の作業内容に加え、新しく依頼される種類の作業も増え、年間通しての作業量も増えた。利用者個々の特徴を捉え、作業提供をしつつ、新しく依頼を受けた作業など取り組んだことのない作業にも取り組めるよう利用者と話し合いをしながら進めた。

### 〈宏文印刷(株)〉

前年度より引き続き、骨上箸の作業を請け負うことができた。受注作業量が前年度よりも増え、年間を通して利用者全員が従事できる作業となった。骨上箸以外にも箱折作業などの短期納期作業や紙祭壇の組立作業を請け負うこともできた。

### 〈J A小松市〉

J A小松市より委託を受け、「竹の子ごはんの素」のレトルトパウチ箱詰め作業を行い、職員による検品の後、利用者による作業ごとの検品や、商品の納品も利用者の作業として行った。

内職納品数

単位：個

| 商品名      | 納品数    |        |
|----------|--------|--------|
|          | 令和3年度  | 令和4年度  |
| 竹の子ごはんの素 | 5, 248 | 5, 660 |

### 〈コマニー(株)〉

「SLーポールウワドメ」、「SLーポールシタドメ」、「SLーMFカナグ」、「PLーポールウワドメ」、「PLーポールシタドメ」5種類の作業を行う。袋詰めした後に箱詰めする作業も引き続き請け負った。今年度は箱詰め作業が前年度よりも増えた。利用者にも検品をしてもらい、自分が詰めた品物を一緒に確認すること続けることで、よりミスのない作業を心がけた。

内職納品数

単位：個

| 金具名        | 納品数    |        |
|------------|--------|--------|
|            | 令和3年度  | 令和4年度  |
| SLーポールウワドメ | 360    | 340    |
| SLーポールシタドメ | 440    | 360    |
| SLーMFカナグ   | 2, 176 | 2, 064 |
| PLーポールウワドメ | 970    | 1, 020 |
| PLーポールシタドメ | 940    | 1, 000 |
| 納品総数       | 4, 886 | 4, 784 |

### 〈(株)ハクサンケミカル〉

(株)ハクサンケミカルより作業委託を受け、紙管巻生地の外装剥がし作業を、企業に向いて行うことを始め2年目であり、年間を通して作業を行うことができた。作業に従

事する際、利用者にあいさつをしっかりと行うよう意識してもらい、外部の人とのコミュニケーションの大事さも併せて行うことができた。

#### 自主製品部門

〈デコレーションクリップ・はいからポーチ・はいからポチ袋など〉

地域の販売会やこまつ道の駅、能美市社会福祉協議会などに置かせていただき販売し、実際に多くの方に手に取って頂く機会を継続して作ることが出来た。能美市社会福祉協議会からは多数の注文を頂いた。

(令和5年度に向けて)

三和物産(株)、宏文印刷(株)、(株)ハクサンケミカル、J A小松市、コマニー(株)などの各取引先との連携・協力を密にして、より信頼をもっていただき、新しく作業の依頼をしていただけるよう努めていく。さらに利用者が行える作業の種類や量を増やせるよう各々の特徴に合わせて支援を強化していくことで、受けられる作業の幅を広げることも行っていく。より正確な作業や欠品の少ない納品になるよう計画的に作業の流れを作り、作業工程を細分化することで、より利用者に合わせた作業提供ができるよう工夫をする。併せて新しい作業を請け負うことができるよう新規取引先の開拓を行い、作業量の確保と工賃向上を目指して行動していく。

(文責：前出)

#### 施設外就労

(令和4年度の主な取り組み)

〈特別養護老人ホーム ボニュール根上苑〔浴室清掃作業〕〉

利用者の工賃と一般就労等に向けたスキルを向上させるため、引き続き施設外就労への取り組みを行った。丁寧な清掃を作業時間内に終えるよう自己点検を行い、各作業に全員が従事できるよう定期的に作業内容を入れ替えながら清掃作業に取り組んだ。

(令和5年度に向けて)

利用者が安定して作業を継続し従事日数を増やしていけるよう今後も支援すると共に、取り組む利用者の方も増えるよう取り組んでいきたい。

(文責：前出)

#### 令和4年度作業部門別収支内訳書

単位：円

| 科目名    | 販売他    | J A    | ボニュール   | コマニー    | ハクサンケミカル  | 三和物産      | 館内清掃    | 合計        |
|--------|--------|--------|---------|---------|-----------|-----------|---------|-----------|
| 収入合計①  | 65,899 | 68,540 | 117,500 | 120,864 | 1,182,500 | 1,925,948 | 120,000 | 3,601,251 |
| 当期材料   | 39,650 | 0      | 0       | 0       | 0         | 145,588   | 0       | 185,238   |
| 利用者工賃  | 28,174 | 59,835 | 95,000  | 75,571  | 747,000   | 1,931,651 | 120,000 | 3,057,231 |
| 外注加工費  | 0      | 0      | 0       | 170     | 0         | 6,900     | 0       | 7,070     |
| 租税公課   | 1,304  | 1,356  | 2,325   | 2,391   | 23,397    | 38,106    | 2,374   | 71,253    |
| 支出合計②  | 69,128 | 61,191 | 97,325  | 78,132  | 770,397   | 2,122,245 | 122,374 | 3,320,792 |
| 余剰金①-② | 5,415  | 7,349  | 20,175  | 42,732  | 412,103   | △196,297  | △2,374  | 280,459   |

その他

(令和4年度の主な取り組み)

- ・独立して3年目の事業を展開した。COVID-19の影響で見学・体験の希望に添えないこともあったが、2人の新規利用者が利用を始めることができた。新しい企業からの作業依頼や今までの企業からの新しい作業も増え、今年度も年間通じて作業が無いという状況はなかった。
- ・地域への障害福祉の理解、啓発の一環として前年度にも参加した「ぼくらの街フェス in 能美」やコマニー(株)の61周年記念の催しに参加し、自主製品等を販売することが出来た。山口町での活動としては、町内清掃の参加やごみ拾い、町内の雪かき等を行い、住民の方に声を掛けていただいた。また「山口町でできることは山口町でしょう」ということで、物品購入など山口町の商店で購入した。
- ・徐々に地域での活動も感染対策に留意しながら行い、外出の機会や余暇活動を楽しみ、利用者同士の親睦を深める機会つくっていった。

(文責：江端)

### 3 令和5年度に向けて

#### 基本方針

- ・思いやりの心を大切に専門的なサービスを提供し、利用者が安心して、いきがいを持って通える事業所活動を進めます。
- ・利用者同士と一緒に働く仲間として、お互いに認め合い協力し合える事業所(職場)を大切にします。
- ・能美市が取り組む「地域共生社会」の形成に、障がい者福祉の視点から貢献します。

#### 重点実施事項

- ① 利用者同士で、仕事や生活での目標や希望、課題(困りごとなど)を話し合え、お互いに認め合いながら進んでいける機会を設けていきます。
- ② 新規の利用者を増やしていけるよう、事業所についての特色を関係機関に知ってもらえる活動を行います。
- ③ 地域貢献の一環として、地域の行事・活動に参加・協力し、障がい者、事業所を理解してもらえる機会と関係作りに努めます。

(文責：江端)

## 《共同生活援助事業(介護サービス包括型)》

### グループホームなごみ・しらさぎ

#### 1 事業の概要

(目 的) 共同生活援助事業は、利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びに、その置かれている環境に応じて、共同生活住居において相談、入浴、排せつ又は食事の介護その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うことを目的としている。

<グループホームなごみ>

(定 員) 10人



(家 賃) 月額28,000円(但し、電気水道代及び食事代は、自己負担)  
※家賃助成制度あり

<グループホームしらさぎ>

(定 員) 6人

(家 賃) 月額23,000円(但し、電気水道代及び食事代は、自己負担)  
※家賃助成制度あり

<共通>

(利用料) 区分と所得に応じて各自異なる。

(共益費) 入浴代、共通利用部分電気代等 月額2,000円

(食 事) 基本的には自炊。(必要に応じて世話人、生活支援員が支援する)  
また、希望すれば、月～金の昼食、夕食は、給食サービスが利用できる。

(洗 濯) 洗濯機1回(30分)100円、乾燥機1回(60分)100円

(駐車場代) 月額1,000円(なごみの郷駐車場利用者、自転車2台目から)

2 年代別利用者内訳(令和5年3月31日現在)

単位:人

|    | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 計  |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 男性 | 0   | 0   | 0   | 1   | 4   | 3   | 2   | 10 |
| 女性 | 0   | 0   | 0   | 0   | 2   | 4   | 0   | 6  |
| 計  | 0   | 0   | 0   | 1   | 6   | 7   | 2   | 16 |

3 利用状況

令和4年度 グループホームなごみ・しらさぎの入退去者数

単位:人

| 月      | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 1  | 2  | 3  |
|--------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 入 居    | 1  | —  | —  | —  | —  | —  | —  | —  | —  | —  | —  | —  |
| 退 居    | —  | —  | —  | —  | —  | —  | —  | —  | —  | —  | —  | —  |
| 月末利用者数 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 |

令和4年度 グループホームなごみ・しらさぎの入居実数

単位:人

| 月      | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 1  | 2  | 3  |
|--------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| なごみ    | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| しらさぎ   | 6  | 6  | 6  | 6  | 6  | 6  | 6  | 6  | 6  | 6  | 6  | 6  |
| 月末利用者数 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 |

グループホームなごみ定員10人、しらさぎ定員6人。令和4年度は4月に1人入居し16人満室でのスタートとなった。12月～2月の間に短期間の入院が2人を含め入院する入居者もいたが、入退居増減なく、令和5年3月31日現在で16人の入居者となっている。

4 主な日中の生活の場(令和5年3月31日現在)

- ・就労継続支援事業B型 6人
- ・生活介護事業 2人
- ・地域活動支援事業 1人
- ・一般就労 1人
- ・就労継続支援事業B型と地域活動支援事業の併用 2人
- ・該当なし 4人

## 5 利用者支援等

### (1) 行事及び活動

#### ① 地域交流等

- ・5月 北浅井町町内会一斉清掃は3年ぶりに実施となり参加。
- ・10月 なごみ祭ミニはコロナ禍の為、規模を縮小しての開催。
- ・年2回の防災訓練を9月は避難訓練として北浅井公民館を避難所と想定し、徒歩にて避難経路を確認する。3月は消火訓練として小松市防災センターから講師を招き、火災時の避難行動と注意点について学び、その後、水消火器で消火訓練を行った。

#### ② 利用者間交流

- ・平日午後4時頃より、憩いの間で“フレンズの会”と称して自主的に集まり、歌を歌ったり、トランプやすごろくをするなど娯楽を楽しんだ。
- ・平日の午後2時半に憩いの間でラジオ体操を行う。部屋にこもりがちな利用者には参加を促し、交流の機会を作った。

#### ③ 企画

- ・毎月第3水曜・木曜は特別入浴企画として、通常より利用時間を早め、入浴促進を図った。毎月違った入浴剤を使用したり、季節に合わせ菖蒲湯やゆず湯なども企画した。
- ・12月は夕食時にクリスマス会を開催し、全員でクリスマスソングを歌いケーキを食べた。司会のサンタは利用者が担当し、賑わいを見せた。
- ・『健康に関する豆知識』『災害時の避難行動』『喫煙にまつわる害について』のポスターや新聞の切り抜きを掲示したり、高血圧や糖尿病など身近に潜む病気の話をつかりやすく解説したものをファイルにして憩いの間に置くなど、必要と思われる情報について提供した。

### (2) ミーティング

毎月第1水曜日にグループホームなごみ・しらさぎの合同ミーティングを行い、行事等のお知らせや、共同生活上で起きる様々な問題について話し合ったりしている。

| 月 | 種別   | 参加者 | 内 容                                                                                                                                                                          |
|---|------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4 | 定例   | 13人 | GH 契約書の更新。新規利用者の紹介。障害者タクシーチケットの手続きのお知らせ。集団検診の推奨（がん検診、はつらつ健診、歯科検診）。COVID-19 の感染予防。ほほえみ基金で購入した物のお知らせ。苦情解決第三者委員会開催のお知らせ。防災訓練の振り返り。《生活お役立ち情報》トイレの流し方、ごみの捨て方、洗濯する際の注意点、物価の高騰について。 |
| 5 | 定例   | 12人 | COVID-19 の感染予防、GW の予定、R4 年度 GH のきまりの配布。                                                                                                                                      |
| 6 | 定例   | 12人 | COVID-19 の感染予防、居室ワックスがけ大掃除の告知。ゴキブリ団子の配布。消防設備点検のお知らせ。いり菓子の価格改定について。《生活お役立ち情報》食中毒の注意喚起。                                                                                        |
|   | しらさぎ | 6人  | 《話し合い》トイレの使い方。迷惑行為について（手をたたく、テレビの大音量、トイレを汚しっぱなし、窓を開けっぱなし）                                                                                                                    |

|    |      |      |                                                                                                                                              |
|----|------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7  | 定例   | 13 人 | COVID-19 の感染予防、洗濯機の使い方。給茶機故障のお知らせ。《生活お役立ち情報》熱中症、地震が起きた時の行動について。                                                                              |
|    | しらさぎ | 6 人  | 《話し合い》トイレの使い方について。備品代の徴収。                                                                                                                    |
| 8  | 定例   | 14 人 | 浴室クリーニングの告知。お盆の予定。居室のコンセント確認のお知らせ。COVID-19 の感染予防。熱中症警戒アラートについて。9 月の館内共有スペースのワックスがけ日時のお知らせ。《生活お役立ち情報》水害の動画を鑑賞後に感想を書いてもらう。ゴミ当番に関するアンケート配布。     |
| 9  | 定例   | 13 人 | 館内共有スペースのワックスがけ日時のお知らせ。COVID-19 の感染予防。避難訓練の日時のお知らせ。なごみ祭ミニ開催のお知らせとボランティアスタッフ募集。掲示板の設置のお知らせ。                                                   |
| 10 | 定例   | 14 人 | COVID-19 の感染予防、両替不可のお知らせ、『もってって市』のお知らせ。インフルエンザ予防接種について。《生活お役立ち情報》避難訓練の振り返り、物価高騰につき買い物は工夫を。《話し合い》ゴミ当番アンケートの回答と、ゴミの分別について。                     |
| 11 | 定例   | 14 人 | COVID-19 の感染予防、インフルエンザ予防接種の日程、居室すす払い大掃除のお知らせ。防災センター見学の希望者募集中。給茶機の移動のお知らせ。《話し合い》ゴミ当番での困りごと。(しらさぎ利用者へ) 備品代徴収中。                                 |
| 12 | 定例   | 12 人 | JA からもち米の寄付案内。川柳募集中。館内共有部分すす払い大掃除の日時について。防災センター見学中止のお知らせ。消防設備点検の告知。COVID-19 の感染予防。ゴミ当番の困りごとのまとめ。紙パックの捨て方。傘立てと下駄箱の整理のお願い。放置自転車の件について。年未年始の予定。 |
| 1  | 定例   | 13 人 | COVID-19 とインフルエンザの感染予防の注意喚起。憩いの間のドアの解放厳禁。間違い探しやってみよう！ゴミの捨て方。《話し合い》来年度に向けて、やってみたいこと                                                           |
|    | しらさぎ | 6 人  | 《話し合い》トイレの使用方法的確認。しらさぎ掃除当番について。                                                                                                              |
| 2  | 定例   | 12 人 | COVID-19 とインフルエンザ同時流行の注意喚起。GH 便りの送付について。薪ストーブに近づきすぎに注意。憩いの間のドア解放禁止。お湯の追い炊き機能について。日中職員の対応時間のお知らせ。洋式トイレのフタは閉めましょう。《話し合い》来年度に向けて。               |
| 3  | 定例   | 12 人 | COVID-19 の感染予防、GH 便り配布のお知らせ、防災訓練の告知、春の火災予防運動。                                                                                                |

### (3) 個別支援

#### ① 日常生活の支援

- ・生活リズムを整える（朝の声かけ、体調確認や日中の過ごし方の確認等）
- ・買物支援（買い物の見守りや店員とのやり取りの補助、物品選びの相談など）
- ・金銭管理（福祉サービス利用支援事業の利用、生活費の預かり、生活費のお渡し、金銭の使い方の振り返りなど）
- ・清掃支援（共有スペース、居室の清掃の見守りやゴミ出しの見守り）

- ・清掃確認（居室、共有スペースの清掃の声掛け及び清掃後の確認）
- ・清潔保持（入浴や着替え、洗濯、身だしなみ等の促しと声掛け）
- ・銀行同行（ATM 操作の見守り）
- ② 医療に関する支援
  - ・服薬管理（服薬の確認、薬カレンダーセット等）
  - ・受診同行
- ③ 個別面接及び相談支援
  - ・個別支援計画面接
  - ・日中の相談支援
  - ・午後 8 時半まで世話人の配置を行い利用者の服薬管理及び支援や緊急時の対応
- ④ 家族支援
  - ・家族からの相談対応
- ⑤ 関係機関との連携
  - ・利用者に関わる機関や行政、及び、病院関係者と連携しながら支援を行っている

## 6 令和 4 年度の主な取り組み

今年度も引き続き、COVID-19 の話し合いや情報共有を行い、感染対策に気をつけながら日常生活を行った。感染者も出ず元気に過ごすことができたことはよかったと思う。日常生活支援では、リラックス効果や健康面、衛生面への意識付けができればとの思いから、昨年行った「特別入浴デーなごみ湯」を継続し、今年は毎月第 3 水曜日（男子）、木曜日（女子）に行った。健康面では、体を動かす機会と利用者同士の交流の機会とも兼ねて午後 2 時半頃から無理なく気軽に参加できる程度の簡単な体操を取り入れたが、不定期的な開催となっている為、来年度は定期的な開催を心がけて取り組んでいきたい。地域交流では、3 年ぶりの北浅井町一斉清掃に参加し地域住民として一緒に取り組めたことはよかったと思う。来年度はさらに地域の方との交流を増やして行きたい。また、今年度は 8 月に大雨による水害もあり、災害に対する意識が今まで以上に感じた為、年 2 回の防災訓練以外でも、ミーティングなどで話し合ったり考えたりした。今後は、危機管理を含め、災害への対応・対策も強化していきたい。

家族との交流に関しては、COVID-19 により開催をすることが出来なかった為、昨年好評であった「グループホームなごみ・しらさぎ便り」を作成し、ご家族へ発送した。グループホームでの行事や利用者の日常生活等をお知らせする等、情報発信を心がけていきたい。COVID-19 が緩和してきたら家族懇談会の開催により顔の見える関係作りも行えたらよいと思う。

## 7 令和 5 年度に向けて

### 基本方針

- ・利用者の体調や日常生活を整え、安心した日常生活が送れるよう支援します。
- ・グループホームの生活は、共同生活の場であるため、入居者どうしの関わる機会の場づくりをおこなっていきます。
- ・より良いグループホームとなるようサービスの質の向上に努めます。

### 重点実施事項

- ① 体調や日常生活を整えていけるよう、健康診断の促しや運動を生活に取り入れていきます。
- ② 入居者同士の関わる機会の提供や関わり方への支援を行っていきます。

- ③ 利用者と関わる機関や地域の方から情報・学びを得ながら利用者への支援の質を高めていきます。

(文責：瀬戸)

# 《相談支援事業》

相談支援センターなごみ・相談支援センターはまかぜ

## 1 事業の概要

(目 的) 障害を持たれた方やそのご家族の福祉や生活全般に関する相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他の障害福祉サービスの利用支援等、必要な支援を関係機関との連携を取りながら行うとともに、虐待の防止及びその早期発見、その他の障害者等の権利擁護のために必要な援助を行う。

(利用料) 無料

(利用時間) 月曜日～金曜日（土・日・祝日、12/29 ～ 1/3 はお休み）9:00～17:30

## 2 事業の実施期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

## 3 事業内容

- ・基本相談（小松市、能美市、川北町より委託）  
福祉サービスに繋がっていない障害のある方、その家族への相談業務と必要な支援を行う。
- ・特定相談支援  
福祉サービス利用者に対し、サービス等利用計画の作成を行うとともに、サービス調整やモニタリングの実施などを通し、本人のニーズをもとに必要に応じて支援を行う。
- ・一般相談支援事業（地域移行・地域定着）  
精神科病院からの退院支援、施設入所施設からの退所支援、その後の地域生活が定着するよう支援を行う。
- ・障害児相談支援事業  
福祉サービス利用者に対し、サービス等利用計画の作成を行うとともに、サービス調整やモニタリングの実施などを通し、ニーズをもとに必要に応じて支援を行う。

## 4 事業実績

相談支援センターなごみ

### ① 年間利用状況

| 利用月    | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計    |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 相談実人数  | 73  | 63  | 64  | 61  | 69  | 86  | 62  | 65  | 67  | 71  | 78  | 92  | 851   |
| 相談件数   | 137 | 155 | 143 | 119 | 136 | 143 | 114 | 135 | 133 | 163 | 137 | 191 | 1,706 |
| 計画相談件数 | 51  | 43  | 45  | 36  | 54  | 46  | 43  | 41  | 41  | 45  | 61  | 55  | 561   |

## ② 年間支援方法

単位：件

| 訪 問 | 来所相談 | 同 行 | 電話相談 | 個別支援<br>会 議 | 関 係<br>機 関 | その他 | 合 計   |
|-----|------|-----|------|-------------|------------|-----|-------|
| 725 | 203  | 103 | 550  | 52          | 67         | 6   | 1,706 |

## ③ サービス等利用計画作成対象者（令和5年3月31日現在）

単位：人

| 年齢 | ～10代 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代～ | 合 計 |
|----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|
| 男性 | 10   | 5   | 9   | 7   | 9   | 18  | 19   | 77  |
| 女性 | 7    | 4   | 8   | 6   | 5   | 12  | 12   | 54  |
| 計  | 17   | 9   | 17  | 13  | 14  | 30  | 31   | 131 |

## ④ 小松市障害支援区分認定調査数

単位：件

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 2  | 1  | 4  | 3  | 2  | 1  | 3   | 9   | 2   | 4  | 1  | 3  | 35 |

## （令和4年度の主な取り組み）

令和2年6月より地域生活支援拠点等の整備の業務として、相談支援センターなごみ含む市内5か所の相談支援事業所の輪番制により、夜間・休日の緊急電話の対応を実施している。また、令和3年度より、小松市で重層的支援体制整備事業がスタートし、相談支援センターなごみは11月に“アウトリーチ等を通じた継続的支援事業”の委託契約を小松市と結締した。

令和4年度も新規相談ケースが途切れることなく、個別のケースとしては、昨年に引き続き、児童発達支援や放課後等デイサービス等の利用を希望する児童のサービス希望者が多かった。児童のケースでは、こども園や学校の中の出来事に関する悩みや、登校拒否、子育てに関する家族の不安等といった課題を抱えるケースも多く、福祉サービスの調整以外の関わりも多く必要であった。成人のケースでは、家計・経済に関する支援が多かった。収入が足りず、少しでも収入を得たいと、福祉的就労を希望する人が多かった。収支の把握や適切な金銭の使い方がわからないという状況もあり、家計改善に同行するケースも多かった。また、家族が高齢となりそれまで行われていた支援体制の見直しが必要となるケースも複数あり、グループホームへの入居希望のケースが多かった。相談支援センターなごみの特徴として、精神に障害を抱えている方の割合が多く、家族や職場の支援等の複雑で関わりが困難なケースは相談支援事業所だけで抱え込まず、地域にある各種機関と積極的につながり協働で支援を行うよう心掛けている。

## 〈行政、他機関との連携〉

相談支援専門員としての動きやケースを通しての共通理解などを深め、行政や病院、学校、他の事業所との連携を強化し、チームとして活動していけるようケース報告やケース検討を行った。また、相談支援の在り方や今後の相談支援の体制などについての話し合いを行った。

- ・連携支援会議 毎週金曜日 小松市ふれあい福祉課、障がい者相談支援センターと合同でケース報告、情報交換（オンライン開催）

- ・小松市相談支援事業所連絡会 月1回（オンラインまたは集合にて）
- ・その他ケースにあわせたケア会議の出席や情報共有
- ・高齢者総合相談支援センターミニ地域ケア会議

#### 〈障害者自立支援協議会〉

年度目標をたてながら課題整理や年度計画達成に向けた活動を行った。

- ・全体会 年1回 ※今年度はCOVID-19の影響で書面表決（8月）
- ・運営委員会 年1回
- ・当事者の声を聴くための仕組み作りを考える会 年1回
- ・高齢者総合相談センター・相談支援事業所連携会議 年1回
- ・精神障害者等地域生活支援研究会 年1回
- ・福祉つながりネットワーク ※今年度は開催なし
- ・石川県自立支援協議会ネットワーク会議 年2回

#### （令和5年度に向けて）

##### 基本方針

障害を持たれた方やご家族の、福祉や生活全般に関する相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他の障害福祉サービスの利用支援など、関係機関や地域との連携を取りながら、地域で安心して暮らせるような支援体制を構築します。また、地域の方のメンタルヘルスケアのための活動を行います。

##### 重点実施事項

- ① 他市の実例等の情報収集を行い、多様な業種、他機関との話し合いを重ねることで、相談支援と相談システムの充実を図ります。
- ② 自立支援協議会への積極的な参加により、地域課題整理や資源開発に向けた活動を行います。
- ③ 各種研修会や事例検討会などの参加、また個々のケースを通じた連携などにより、専門職としてのスキルアップをはかります。
- ④ 地域の方の安心できる居場所作りを行います。

（文責：中西）

#### 相談支援センターはまかぜ

##### ① 年間利用状況

| 利用月    | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計    |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 相談実人数  | 61  | 67  | 65  | 69  | 68  | 64  | 66  | 73  | 69  | 61  | 67  | 75  | 805   |
| 相談件数   | 111 | 143 | 146 | 159 | 169 | 127 | 159 | 179 | 159 | 152 | 143 | 190 | 1,837 |
| 計画相談件数 | 35  | 36  | 45  | 38  | 38  | 36  | 35  | 41  | 40  | 31  | 37  | 44  | 456   |

## ② 年間支援方法

単位:件

| 訪 問 | 来所相談 | 同 行 | 電話相談 | 個別支援<br>会 議 | 関 係<br>機 関 | その他 | 合 計   |
|-----|------|-----|------|-------------|------------|-----|-------|
| 772 | 78   | 194 | 643  | 66          | 88         | 0   | 1,841 |

## ③ サービス等計画作成対象者 (令和5年3月31日現在)

単位:人

| 年齢 | ～10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代～ | 合 計 |
|----|------|-----|-----|-----|-----|------|-----|
| 男性 | 14   | 9   | 9   | 13  | 29  | 2    | 76  |
| 女性 | 4    | 4   | 6   | 14  | 7   | 6    | 41  |
| 計  | 18   | 13  | 15  | 27  | 36  | 8    | 117 |

## ④ 能美市障害支援区分認定調査数

単位:件

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 4  | 2  | 4  | 5  | 2  | 4  | 2   | 3   | 3   | 3  | 2  | 2  | 36 |

## (令和4年度の主な取り組み)

市として、主任相談支援専門員の役割が求められるようになり、アドバイザーとしてのチーム支援会議への参加や、県が主催する研修企画委員などへの依頼も多く、ケース以外での動きも多くなってきている。そのような中、新しい相談支援事業所が2事業所増え、人材育成やフォローアップ体制など、自立支援協議会などの参加を通し、相談支援体制や個別支援から感じられる地域課題などの話し合いを行ってきた。

令和4年度の相談傾向としては、定時制高校や大学卒業後の就職についての相談や、複合的課題を抱える世帯での虐待案件も数件あった。親の高齢化に伴う介護負担からの虐待や、高齢の親に対してのアルコール依存からの暴力などの案件があり、緊急で動かなくてはいけない事も多かった。また母子保健関係で、母が精神疾患を患い家事や子育てが難しくなるケースの依頼も今年度は多かった。

## 〈行政、他機関との連携〉

チーム支援会議や地域ケア会議への参加や、困難ケースや複合的課題を抱える世帯の他機関連携が多くあった。要保護児童対策協議会が動いているケースもあり、児童相談所や健康推進課、子育て支援課との連携も多かった。児童のケースが増えたことで、不登校や卒業後の進路が定まらないケースの依頼もあり学校やこども発達支援センターとの連携も多かった。またケースの中には地域住民やボランティアと協働して支援にあたるケースもあった。

## 〈障害者自立支援協議会〉

委託事業所として、コア会議、運営会議、全体会に参加。通所事業所連絡会の事務局機能も担っている。分野別連絡会として、相談支援事業所連絡会、こども連絡会、事業所連絡会(通所系、訪問系)があり、各連絡会で地域課題等を出し合い、課題に対してどのように取り組んでいくか等、協議を行っている。事業所連絡会通所系では、主に障がい者の理解促進と就労環境の課題について話し合いを進め、今年度はインスタグラムを立ち上げ普及啓発を行っていく取り組みをスタートさせている。訪問系では、訪問系従事者のス



キルアップのため、今年度は虐待防止の研修会を行っている。子ども連絡会では、医療的ケアを必要とする児童に関してや放課後等デイサービスの不足についてなどのそれぞれ地域課題を出し合い、協議されていた。各連絡会であがった地域課題は、運営会議にて報告され検討課題の整理等を行っている。

(令和5年度に向けて)

#### 基本方針

南加賀圏域の各市町行政、社会福祉協議会、医療機関、福祉サービス事業所などと連携をとり、障がいのある方の安心で豊かな生活の支えとなることや、高齢化や親亡き後を見据えた柔軟で切れ目のないサポート体制などを関係機関等と協働しながら、社会福祉の課題に取り組み、地域福祉の向上を目指します。

#### 重点実施事項

- ① 地域、行政、関係機関などと顔の見える関係性を構築し、連携の中で役割を補完し合いながら障がいのある方へのサポートを行い地域で安心して生活できるよう関わっていきます。
- ② 自立支援協議会や地域関係団体協議会、事例検討会等への参加を通して、地域社会資源の開発、人材育成に役立てることが出来るよう専門職として力を発揮し、活動します。
- ③ 家族全体がニーズを抱えているケースが増え、多様な連携やきめ細やかな関りが求められるので、長期的な視点で家族全体を関係者で支え一緒に考え一緒に次のステップへ進んでいけるよう支援に努めます。

(文責：堂前)

### 《生活介護事業、地域活動支援事業》 地域活動センターくろゆり

#### 1 事業の概要

##### (1) 生活介護事業

- (目 的) 日常生活をより豊かにするため、創作活動、余暇活動、生産活動の機会を提供し、必要に応じて、食事や入浴、服薬、排泄等の介助等支援を提供する。それぞれの希望をもとに個別支援計画を作成し、創意工夫をし、個別に支援を提供することを目的とする。
- (定 員) 20人
- (利用料) 1日 (区分2) 546円 (区分3) 599円  
(区分4) 669円 (区分5) 964円  
(区分6) 1,288円
- (利用期間) なし
- (利用区分) 区分3以上、50歳以上の方については区分2以上

##### (2) 地域活動支援センターくろゆり (小松市、能美市、加賀市、川北町委託事業)

- (目 的) 創作活動、余暇活動、生産活動などを通じ、各個人がそれぞれの生活を豊かにし、生きがいや夢を持って生活できるように創意工夫し支援を提供すること。また、「気軽に立ち寄れる居場所」として

の機能を重視することを目的としている。

- (定 員) 10人  
 (利用料) 4時間以下 266円 4時間を超えて6時間以下 346円  
 6時間を超えた場合 405円  
 (利用期間) なし  
 (利用区分) なし

### (3) サービス内容

- ・創作活動：アート、調理、野菜作り etc.
- ・余暇利用：買い物、ゲーム、ドライブ、散歩、おしゃべり、ハンドベル etc.
- ・生産活動：ねじの袋詰め、ハーネス袋詰め、館内消毒作業
- ・健康維持：運動、脳トレ
- ・地域活動：フードパントリー、町内ごみ拾い
- ・季節行事：初詣、花見、忘年会、年度末会 etc.
- ・各種相談：生活相談、金銭相談、制度相談、医療相談・同行 等
- ・その他：送迎サービス、昼食サービス、訪問、居場所機能（オフクロ）

## 2 事業利用状況

### (1) 登録者の推移

#### ①人数

単位：人

| 利用月  | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 月平均  |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|------|
| 生活介護 | 17 | 16 | 15 | 15 | 15 | 15 | 13  | 15  | 16  | 16 | 15 | 16 | 15.3 |
| 地域活動 | 26 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 30  | 31  | 33  | 33 | 35 | 35 | 30.3 |
| 合 計  | 43 | 42 | 42 | 43 | 44 | 45 | 43  | 46  | 49  | 49 | 50 | 51 | 45.6 |

#### ② 市町別登録者数 (令和5年3月31日現在)

単位：人

| 項 目  | 小松市 | 能美市 | 加賀市 | 川北町 | 合 計 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 生活介護 | 13  | 4   | 0   | 1   | 18  |
| 地域活動 | 26  | 5   | 2   | 1   | 33  |
| 合 計  | 43  | 9   | 2   | 1   | 51  |

#### ④ 年代別登録者数 (令和5年3月31日現在)

単位：人

| 年 齢 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 合 計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 男 性 | 0   | 4   | 3   | 6   | 7   | 5   | 1   | 26  |
| 女 性 | 0   | 3   | 1   | 6   | 6   | 9   | 0   | 25  |
| 合 計 | 0   | 7   | 6   | 12  | 13  | 16  | 1   | 51  |

④ 障害種別登録者数 (令和5年3月31日現在) 単位:人

| 障害名 | 統合 | 気分 | 発達 | 身体 | 知的 |   |
|-----|----|----|----|----|----|---|
| 男性  | 7  | 3  | 8  | 1  | 5  | 3 |
| 女性  | 10 | 7  | 1  | 1  | 1  | 4 |
| 合計  | 17 | 10 | 9  | 2  | 6  | 7 |

フードパントリーやオフクロ(土曜日居場所)などの地域生活活動を継続し、地域の居場所の色を強めていった結果、令和4年度は16人の見学と8人の体験があった。

新規は、生活介護1人、地域活動支援センター12人、終了者は生活介護2人であった。

(2) 延利用者・利用率の推移 単位:人

| 利用月       | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   |
|-----------|------|------|------|------|------|------|
| 開所日数      | 22日  | 22日  | 24日  | 23日  | 24日  | 24日  |
| 生活介護利用者数  | 187  | 184  | 214  | 208  | 206  | 197  |
| 地域活動利用者数  | 58   | 74   | 92   | 77   | 86   | 128  |
| 利用者数計     | 245  | 258  | 306  | 285  | 292  | 325  |
| 一日の平均利用者数 | 11.1 | 11.7 | 12.8 | 12.4 | 12.2 | 13.5 |

| 10月  | 11月 | 12月  | 1月  | 2月   | 3月   | 合計    |
|------|-----|------|-----|------|------|-------|
| 23日  | 23日 | 24日  | 21日 | 21日  | 23日  | 274日  |
| 180  | 202 | 208  | 175 | 173  | 201  | 2,335 |
| 113  | 145 | 161  | 139 | 158  | 196  | 1,427 |
| 293  | 347 | 369  | 314 | 331  | 397  | 3,762 |
| 12.7 | 15  | 15.4 | 15  | 15.8 | 17.3 | 13.7  |

延べ利用者数が昨年度より、約1,255人増え、平均稼働率は、生活介護は昨年度37.6%から42.3%に、地域活動支援センターが昨年度23.1%から52.2%に増えた。数字から見て取れるように地活の利用者数が著しく増えた。居場所機能を高めるために土曜開所の“オフクロ”を継続して行ったことや、地域の相談窓口関係機関への周知など、ふらっと立ち寄っても居心地が悪くないような支援を職員全員で心がけた結果だと思われる。また、地域活動支援センターの新規登録者には、相談員を介さず自ら問合せをしてくれた方が3人、就労をしながら休みの日の居場所として登録したいという方が3人いた。

1日の利用者が20人を超える日もあり、施設が手狭になってきているが、まだまだ居場所を必要としている方が、地域には多く存在すると思われる。

(文責:松本)

### 3 令和4年度の主な取り組み

令和4年度もコロナ禍ではあったが、少しずつ活動範囲を広げ、3年ぶりの小旅行で「のとじま水族館」にも行くことができた。利用者数の増加に伴い、メンボラ ToMo の会のみなさんに、お出かけ企画やフードパントリーのボランティア参加をお願いし地域の方と触れ合える良い機会となった。

今年度は、昨年度から始めた取り組みを定着させ、周知していただけることに力を注いだ。結果、利用者が増えたことで、新たに麻雀同好会のようなものが自然に出来上がった。職員が調整役などは果たすが、利用者間のつながりで新しい動きが出来上がるといのは、場が成熟してきた証ではないかと感じている。

(文責:松本)

### 4 令和5年度に向けて

令和4年度は地域活動支援センター機能を強化するために、令和3年度にはじめて様々な取り組みが実を結び始めた1年となった。地域の障がいを抱えた方の居場所として認知していただけるようになってきたためか、地域活動支援センターの利用者数が増加している。ただ課題もあり、就労系事業との併用利用問題や、行政と連携した引きこもり支援など、地域活動支援センターの果たすべき役割やニーズは大きいと感じている。令和5年度は、手狭になってきた建物の増築計画に取り組むと共に、更に地域活動支援センターの重要性を行政などに訴え続け理解していただけるように努めていきたい。

#### 基本方針

体調や生活リズムを整え、安心して希望ある生活を送れるよう支援すると共に、「地域共生社会」の一端を担う事業所として地域交流・貢献に努めながら、より一層地域の資源として認知いただける事業所づくりを進めます。

#### 重点実施事項

- ① 精神障がい者等の地域の居場所機能の充実のため、建物の増築により更なる居心地の良い空間づくりと、地域住民と協働した居場所づくりとなる計画の立案を、令和6年度に向け進めます。
- ② 利用者の社会参加を進めながら地域貢献活動を行い、地域の方々と協働して共生社会を育みます。
- ③ くろゆりの存在意義を認知いただけるよう、積極的な広報活動により、行政や地域にアピールしていきます。

(文責：松本)

## 《生活困窮者就労準備支援事業》 のみワークポートりんく

### 1 事業の概要

のみワークポートりんくは、生活困窮者自立支援制度における就労準備支援事業を能美市から委託を受け、令和4年7月から本格的に事業を開始した。事業は、一般就労に向けた準備としての基礎能力形成の支援を、生活・社会・就労自立支援で計画的かつ一貫して実施する。対象者は、働くうえで複合的な生活課題を抱えており、生活

習慣の形成から、他者との関わりに不安を抱えるコミュニケーション能力の形成などを含め、自尊感情や自己有用感を喪失している方も多い。そのため、直ちに就職ありきではなく、その方の生きづらさは何かを考え、生活全般を支える視点で関わり、信頼関係をつくっていくことが大事となっている。また事業の目的や地域の支えが、生活に困窮している方々のセーフティーネットであるという側面を、就労支援を通して地域に認知していただく活動も求められている。

## 就労準備支援事業

|        |                                                                                                                                                                    |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (支援内容) | 生活習慣形成のための指導・訓練（生活自立支援）、就労の前段階として必要な社会的能力の習得（社会自立支援）、事業所での就労体験の場の提供や、一般雇用への就職活動に向けた技法や知識の取得等の支援（就労自立支援）の3段階で支援。そのほか、就職後のフォローアップや地域への事業啓発、及び生活困窮者を支える地域のネットワークづくり 等 |
| (定 員)  | 5名程                                                                                                                                                                |
| (利用料)  | なし                                                                                                                                                                 |
| (利用期間) | 原則1年                                                                                                                                                               |
| (その他)  | 送迎サービス                                                                                                                                                             |

## 2 事業実績

### (1) 登録者の推移

#### ①人数

単位：人

| 利 用 月          | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 |
|----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 就労準備支援事業（定員5人） | -   | -   | -   | 0   | 2   | 3   |

| 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合 計 | 月平均 |
|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 5    | 5    | 6    | 8   | 8   | 8   | 8   | 5.0 |

#### ②年代別登録者数（令和5年3月31日現在）

単位：人

| 年齢 | 10 代 | 20 代 | 30 代 | 40 代 | 50 代 | 60 代～ | 計 |
|----|------|------|------|------|------|-------|---|
| 男性 | 0    | 0    | 1    | 1    | 5    | 1     | 8 |
| 女性 | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0 |
| 計  | 0    | 0    | 1    | 1    | 5    | 1     | 8 |

### (2) 登録延利用者・利用率の推移

単位：人

| 開 所 月   | 4 月  | 5 月  | 6 月  | 7 月  | 8 月  | 9 月  |
|---------|------|------|------|------|------|------|
| 延べ人数（人） | -    | -    | -    | 0    | 5    | 10   |
| 開所日数（日） | -    | -    | -    | 20   | 22   | 21   |
| 稼働率     | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.1% |

| 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 合 計  | 月平均  |
|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 21   | 17   | 13   | 19   | 29   | 22   | 136  | 15.1 |
| 21   | 20   | 23   | 19   | 19   | 22   | 187  | 20.8 |
| 0.2% | 0.2% | 0.1% | 0.2% | 0.3% | 0.2% | 0.2% |      |

### 3 令和4年度の主な取り組み

令和4年度の新規登録者は8人、登録終了者は0人、一般就職者は2人であった。事業開始年度は、事業の受入れ窓口となる能美市、能美市社会福祉協議会生活困窮自立相談機関、アウトリーチ支援事業たいようとの連携・ケースの共有を深めながら進めてきたが、人それぞれ働くことができない生活課題は多様であった。また、長年仕事に就けていない方など、自尊心や自己有用感の喪失が深いことを改めて感じた。やはり、焦らず寄り添い進める伴奏支援が重要と振り返る。ただ一定期間のある事業、一般就労に向けてという目的事業との狭間で、苦慮しながら支援を推し進めたというのが課題である。また、地域との繋がりや地域の支えての中で、その方が活躍できる環境をつくっていかねばならず、各関係機関・団体との担当者会議や情報共有など、横のつながりを多く有したことは大きかった。地域への啓発においても、行政・関係機関等のご尽力、ご協力でSNSを含めた事業の周知啓発を進められた。先ずは、実績数よりもこれまで支えきれなかった方々への、就労に向けたアプローチとして関わったことは地域支援の第一歩と感じている。

次年度は、初年度からみえた課題や必要な取り組みを推進していくために、働く場としての地域の就労資源の掘り起こしと、協働して情報を共有していくネットワークづくりを推し進めながら、当事者との関わりの中で感じる、孤立孤独状態から地域社会に一步を踏み出しやすくしていける、居場所の活用（サードプレイス）を進めていきたい。

（文責：高田）

### 4 令和5年度に向けて 基本方針

自己有用感や意欲の向上を得られる関わりに努め、生活習慣改善や社会参加能力の向上により、就労に従事する能力を身につけられるよう支援する。また、ひきこもりや中高年齢者等、直ちに就労を目指すことが難しい方には、家族等への支援を含め支えてとなる方々との連携・関係づくりを重視した支援に努める。

#### 重点実施事項

- ① アセスメントにより状況と課題を丁寧に把握し、セミオーダーメイドで有効なプログラムを展開する。
- ② 社会参加の足掛かりとして、自宅から離れ気軽に過ごせたり、自己有用感を感じられたりできる「居場所」機能を充実させる。
- ③ 自立相談支援事業やハローワーク、障がい相談支援事業など、各専門職との連携を密にチーム支援であたる。
- ④ 地域の働く担い手となるため、地域資源の開拓、連携と地域の理解を推進する。

（文責：高田）

## 《地域交流推進事業》

### 1 地域交流センター及び地域交流室の活用

青葉会、くろゆり会、メンボラ ToMo の会の活動の拠点として各種行事や会議等で利用されており、令和 4 年度は COVID-19 発生以前の利用件数、参加者数に戻りつつあった。その他、これまで地域の福祉医療関係者もピア活動の場として使用する等、多目的に利用されていた部分については、COVID-19 発生以後は利用件数、参加人数とも以前の半分以上の利用となっている。

（文責：中村）

令和 4 年度地域交流センター及び地域交流室利用の推移

| 団体名             | 4<br>月   | 5<br>月   | 6<br>月   | 7<br>月   | 8<br>月   | 9<br>月    | 10<br>月  | 11<br>月   | 12<br>月  | 1<br>月  | 2<br>月  | 3<br>月   | 累計         |
|-----------------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|----------|-----------|----------|---------|---------|----------|------------|
| 青葉会と<br>利用者     | 7<br>20  | 2<br>6   | 1<br>4   | 2<br>5   | 3<br>10  | 2<br>12   | 3<br>18  | 2<br>55   | 4<br>27  | 2<br>6  | 0<br>0  | 1<br>4   | 29<br>167  |
| くろゆ<br>り会       | 2<br>6   | 2<br>5   | 1<br>1   | 1<br>1   | 10<br>0  | 3<br>9    | 0<br>0   | 1<br>2    | 0<br>0   | 0<br>0  | 0<br>0  | 0<br>0   | 10<br>24   |
| メンボラ<br>TOMO の会 | 3<br>21  | 5<br>31  | 4<br>33  | 4<br>24  | 3<br>28  | 9<br>53   | 3<br>21  | 5<br>34   | 4<br>37  | 2<br>10 | 5<br>41 | 6<br>44  | 50<br>377  |
| その他             | 8<br>23  | 9<br>33  | 6<br>24  | 4<br>18  | 7<br>36  | 9<br>34   | 9<br>38  | 21<br>103 | 8<br>23  | 3<br>8  | 2<br>21 | 3<br>42  | 89<br>403  |
| 計               | 20<br>70 | 18<br>75 | 12<br>62 | 11<br>48 | 13<br>74 | 23<br>108 | 15<br>77 | 29<br>194 | 16<br>87 | 7<br>24 | 7<br>62 | 10<br>90 | 168<br>947 |

上段回数：行事及び会議の回数

下段：行事及び会議の参加者数

### 2 その他の地域福祉関係者の活動内容

SUGAR JAPAN はピアカウンセリングを行うグループで、生活のことや仕事のこと、病気、薬、老後のことなど幅広くみんなで話し合っている。参加メンバーには、当事者の方を中心に、大学教員、福祉施設の職員、病院のナースに作業療法士、ボランティアの方と幅広く参加している。当法人職員も平成 25 年から参加し、地域活動センターしらさぎにて 2 ヶ月毎に集まっていたが、COVID-19 の影響で昨年引き続き、令和 4 年度も開催しなかった。

（文責：金谷）

### 3 ボランティアに関すること

令和 4 年度のメンボラ ToMo の会との交流活動は COVID-19 の影響で昨年同様、大きな行事であるバスハイク、初釜、春の日の食談会等が中止となり、学びの会（絵手紙、しゃべろっさ）やほっとサロン等の毎月の訪問活動も中止となったが、一部、状況をみながらふれあい活動を行って頂いた。また、地域活動センターくろゆりからの要望を受けて頂き、A、B グループの方々に 1 か月交代で支援に入ってもらった。

（文責：中村）

— 以下、令和4年度メンボラ ToMo の会事業報告書からの抜粋 —

コロナ禍でのなごみの郷利用者との関り

| 内 容                                                                                                       | 参加者         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| なごみの郷の4つの事業所で利用者の皆さんと一緒に、夏と春に咲く花を植えた。<br>6月14日 なごみの郷、くろゆり、はまかぜ、山口分場<br>10月21日 なごみの郷、くろゆり 10月28日 はまかぜ、山口分場 | TOMOの会 3 2名 |
| くろゆりフードパントリー（5～3月）<br>12月までは昼食を一緒に作って食べていたが、1月より食事は辞退した。                                                  | TOMOの会 2 3名 |
| 千支の型抜きアート作り 12月12日 1回目13：30 2回目14：30<br>なごみの郷で2班に分けて人数を最小限にして実施した。                                        | TOMOの会 1 8名 |
| 千支の型抜きアート作り 12月16日<br>くろゆりで実施した。                                                                          | TOMOの会 3名   |
| くろゆりウォーキング（8, 9, 10, 12, 1月）<br>イオンモールや木場潟などを利用者と共にウォーキングした。                                              | TOMOの会 8名   |

## 第21回なごみ祭 mini

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で2年間中止となっていたなごみ祭をminiとして規模縮小で再開した。6月から10月への日程変更、時間の短縮、飲食は持ち帰りのみと、今までとは異なる祭だったが、メンボラ ToMo の会、くろゆり会、青葉会をはじめ、地域の方々のご協力のもと、新しい祭を作り上げることができた。

男飯ロッキーの弁当に北浅井町の方のお漬物を加えた「おなご飯弁当」や、山田菓子舗のおはぎに、はまかぜ自主製品の大麦を使用していただいた「大麦おはぎ」の販売、地域の方から不用品を集め開催したフリーマーケットなど、コロナ禍で分断されかけた地域の方々とのつながりを取り戻せるように、今まで以上に地域を意識した内容となった。原点回帰してみんなで祭の意義を考えることができたように感じる。

（文責：松本）





メンボラ TOMO の会の苔玉屋さん



大人気！めだかすくい



寄付していただいた品物でフリマ



きらめきパラダイスを踊りました



### Ⅲ 令和４年度の決算状況

#### 1 資金収支計算書

第一号第一様式（第十七条第四項関係）

法人単位資金収支計算書

（自）令和4年4月1日 （至）令和5年3月31日

（単位：円）

| 勘定科目                            |                           | 予算(A)       | 決算(B)       | 差異(A)-(B)   | 備考 |
|---------------------------------|---------------------------|-------------|-------------|-------------|----|
| 事業活動による収支                       | 収入                        |             |             |             |    |
|                                 | 就労支援事業収入                  | 16,500,000  | 18,237,409  | △ 1,737,409 |    |
|                                 | 障害福祉サービス等事業収入             | 166,433,000 | 169,581,420 | △ 3,148,420 |    |
|                                 | 経常経費寄附金収入                 | 210,000     | 150,000     | 60,000      |    |
|                                 | 受取利息配当金収入                 | 1,000       | 613         | 387         |    |
|                                 | その他の収入                    | 954,000     | 1,105,291   | △ 151,291   |    |
|                                 | 事業活動収入計（１）                | 184,098,000 | 189,074,733 | △ 4,976,733 |    |
|                                 | 支出                        |             |             |             |    |
|                                 | 人件費支出                     | 116,546,000 | 113,931,272 | 2,614,728   |    |
|                                 | 事業費支出                     | 14,232,000  | 13,286,951  | 945,049     |    |
|                                 | 事務費支出                     | 27,605,000  | 25,930,801  | 1,674,199   |    |
|                                 | 就労支援事業支出                  | 16,500,000  | 16,847,789  | △ 347,789   |    |
| 施設整備等による収支                      | 支払利息支出                    |             | 0           | 0           |    |
|                                 | 事業活動支出計（２）                | 174,883,000 | 169,996,813 | 4,886,187   |    |
|                                 | 事業活動資金収支差額（３）＝（１）－（２）     | 9,215,000   | 19,077,920  | △ 9,862,920 |    |
|                                 | 収入                        |             |             |             |    |
|                                 | 施設整備等補助金収入                |             | 0           | 0           |    |
|                                 | 社会福祉連携推進業務設備資金借入金収入       |             | 0           | 0           |    |
|                                 | 固定資産売却収入                  | 323,000     | 323,250     | △ 250       |    |
|                                 | その他の施設整備等による収入            | 60,000      | 56,000      | 4,000       |    |
|                                 | 施設整備等収入計（４）               | 383,000     | 379,250     | 3,750       |    |
|                                 | 支出                        |             |             |             |    |
|                                 | 設備資金借入金元金償還支出             | 3,400,000   | 3,400,000   | 0           |    |
|                                 | 社会福祉連携推進業務設備資金借入金元金償還支出   |             | 0           | 0           |    |
| その他の活動による収支                     | 固定資産取得支出                  | 1,612,000   | 1,610,234   | 1,766       |    |
|                                 | 固定資産除却・廃棄支出               |             | 0           | 0           |    |
|                                 | その他の施設整備等による支出            |             | 0           | 0           |    |
|                                 | 施設整備等支出計（５）               | 5,012,000   | 5,010,234   | 1,766       |    |
|                                 | 施設整備等資金収支差額（６）＝（４）－（５）    | △ 4,629,000 | △ 4,630,984 | 1,984       |    |
|                                 | 収入                        |             |             |             |    |
|                                 | その他の活動による収入               |             | 0           | 0           |    |
|                                 | その他の活動収入計（７）              | 0           | 0           | 0           |    |
|                                 | 支出                        |             |             |             |    |
|                                 | 社会福祉連携推進業務長期運営資金借入金元金償還支出 |             | 0           | 0           |    |
|                                 | 社会福祉連携推進業務長期貸付金支出         |             | 0           | 0           |    |
|                                 | 横立資産支出                    | 446,000     | 445,652     | 348         |    |
|                                 | その他の活動による支出               | 60,000      | 56,000      | 4,000       |    |
|                                 | その他の活動支出計（８）              | 506,000     | 501,652     | 4,348       |    |
|                                 | その他の活動資金収支差額（９）＝（７）－（８）   | △ 506,000   | △ 501,652   | △ 4,348     |    |
| 予備費支出（１０）                       |                           |             |             | 0           |    |
| 当期資金収支差額合計（１１）＝（３）＋（６）＋（９）－（１０） |                           | 4,080,000   | 13,945,284  | △ 9,865,284 |    |
| 前期末支払資金残高（１２）                   |                           | 70,449,339  | 70,449,339  | 0           |    |
| 当期末支払資金残高（１１）＋（１２）              |                           | 74,529,339  | 84,394,623  | △ 9,865,284 |    |

## 2 事業活動計算書

第二号第一様式（第二十三条第四項関係）  
法人単位事業活動計算書

（自）令和4年4月1日 （至）令和5年3月31日

（単位：円）

| 勘定科目                               |                           | 当年度決算(A)    | 前年度決算(B)    | 増減(A)-(B)   |
|------------------------------------|---------------------------|-------------|-------------|-------------|
| サービス活動増減の部                         | 収益                        |             |             |             |
|                                    | 就労支援事業収益                  | 18,237,409  | 15,317,920  | 2,919,489   |
|                                    | 障害福祉サービス等事業収益             | 169,581,420 | 144,145,078 | 25,436,342  |
|                                    | 経常経費寄附金収益                 | 150,000     | 610,000     | △ 460,000   |
|                                    | サービス活動収益計（１）              | 187,968,829 | 160,072,998 | 27,895,831  |
|                                    | 費用                        |             |             |             |
|                                    | 人件費                       | 113,784,772 | 107,997,584 | 5,787,188   |
|                                    | 事業費                       | 13,286,951  | 11,030,471  | 2,256,480   |
|                                    | 事務費                       | 25,930,801  | 17,751,492  | 8,179,309   |
|                                    | 就労支援事業費用                  | 16,735,561  | 15,742,349  | 993,212     |
| サービス活動増減の部                         | 減価償却費                     | 10,976,831  | 11,827,787  | △ 850,956   |
|                                    | 国庫補助金等特別積立金取崩額            | △ 3,219,818 | △ 5,991,163 | 2,771,345   |
|                                    | 貸倒損失額                     | 0           |             | 0           |
|                                    | 貸倒引当金繰入                   | 0           |             | 0           |
|                                    | サービス活動費用計（２）              | 177,495,098 | 158,358,520 | 19,136,578  |
|                                    | サービス活動増減差額（３）＝（１）－（２）     | 10,473,731  | 1,714,478   | 8,759,253   |
| サービス活動増減の部                         | 収益                        |             |             |             |
|                                    | 受取利息配当金収益                 | 613         | 500         | 113         |
|                                    | その他のサービス活動外収益             | 1,105,291   | 848,663     | 256,628     |
|                                    | サービス活動外収益計（４）             | 1,105,904   | 849,163     | 256,741     |
|                                    | 費用                        |             |             |             |
|                                    | 支払利息                      | 0           | 178         | △ 178       |
| サービス活動増減の部                         | サービス活動外費用計（５）             | 0           | 178         | △ 178       |
|                                    | サービス活動外増減差額（６）＝（４）－（５）    | 1,105,904   | 848,985     | 256,919     |
| 経常増減差額（７）＝（３）＋（６）                  |                           | 11,579,635  | 2,563,463   | 9,016,172   |
| 特別増減の部                             | 収益                        |             |             |             |
|                                    | 施設整備等補助金収益                | 0           | 0           | 0           |
|                                    | 固定資産売却益                   | 323,249     |             | 323,249     |
|                                    | その他の特別収益                  | 0           | 587,718     | △ 587,718   |
|                                    | 特別収益計（８）                  | 323,249     | 587,718     | △ 264,469   |
|                                    | 費用                        |             |             |             |
|                                    | 固定資産売却損・処分損               | 0           | 7           | △ 7         |
|                                    | 国庫補助金等特別積立金積立額            | 0           | 0           | 0           |
|                                    | その他の特別損失                  | 0           | 587,718     | △ 587,718   |
|                                    | 特別費用計（９）                  | 0           | 587,725     | △ 587,725   |
|                                    | 特別増減差額（１０）＝（８）－（９）        | 323,249     | △ 7         | 323,256     |
| 当期活動増減差額（１１）＝（７）＋（１０）              |                           | 11,902,884  | 2,563,456   | 9,339,428   |
| 繰越活動増減差額の部                         | 前期繰越活動増減差額（１２）            | 101,999,606 | 102,412,237 | △ 412,631   |
|                                    | 当期末繰越活動増減差額（１３）＝（１１）＋（１２） | 113,902,490 | 104,975,693 | 8,926,797   |
|                                    | 基本金取崩額（１４）                | 0           | 0           | 0           |
|                                    | その他の積立金取崩額（１５）            | 0           | 0           | 0           |
|                                    | その他の積立金積立額（１６）            | 445,652     | 2,976,087   | △ 2,530,435 |
| 次期繰越活動増減差額（１７）＝（１３）＋（１４）＋（１５）－（１６） |                           | 113,456,838 | 101,999,606 | 11,457,232  |

### 3 貸借対照表

法人単位貸借対照表

第三号第一様式（第二十七条第四項関係）

令和5年3月31日現在

（単位：円）

| 資産の部     |             |             |             | 負債の部            |             |             |             |
|----------|-------------|-------------|-------------|-----------------|-------------|-------------|-------------|
|          | 当年度末        | 前年度末        | 増減          |                 | 当年度末        | 前年度末        | 増減          |
| 流動資産     | 88,622,615  | 74,163,580  | 14,459,035  | 流動負債            | 10,748,319  | 10,493,296  | 255,023     |
| 現金預金     | 54,359,614  | 46,603,070  | 7,756,544   | 事業未払金           | 3,529,844   | 3,203,163   | 326,681     |
| 事業未収金    | 31,717,875  | 25,049,729  | 6,668,146   | 1年以内返済予定設備資金借入金 | 3,400,000   | 3,400,000   | 0           |
| 未収補助金    | 979,458     | 978,848     | 610         | 預り金             | 275,475     | 200,633     | 74,842      |
| 商品・製品    | 50,165      | 34,150      | 16,015      | 職員預り金           |             |             | 0           |
| 仕掛品      | 48,050      | 54,428      | △ 6,378     | 仮受金             |             |             | 0           |
| 原材料      | 324,458     | 221,867     | 102,591     | 賞与引当金           | 3,543,000   | 3,689,500   | △ 146,500   |
| 立替金      |             |             | 0           | その他の流動負債        |             |             | 0           |
| 前払金      |             | 154,000     | △ 154,000   |                 |             |             |             |
| 前払費用     | 1,142,995   | 1,067,488   | 75,507      |                 |             |             |             |
| 仮払金      |             |             | 0           |                 |             |             |             |
| 固定資産     | 64,501,806  | 73,422,752  | △ 8,920,946 | 固定負債            | 6,036,000   | 9,436,000   | △ 3,400,000 |
| 基本財産     | 27,429,055  | 32,762,809  | △ 5,333,754 | 設備資金借入金         | 5,200,000   | 8,600,000   | △ 3,400,000 |
| 土地       |             |             | 0           | 長期預り金           | 836,000     | 836,000     | 0           |
| 建物       | 26,429,055  | 31,762,809  | △ 5,333,754 | 負債の部合計          | 16,784,319  | 19,929,296  | △ 3,144,977 |
| 定期預金     | 1,000,000   | 1,000,000   | 0           | 純資産の部           |             |             |             |
| その他の固定資産 | 37,072,751  | 40,659,943  | △ 3,587,192 | 基本金             | 11,546,875  | 11,546,875  | 0           |
| 土地       | 8,798,375   | 8,798,375   | 0           | 国庫補助金等特別積立金     | 5,788,688   | 9,008,506   | △ 3,219,818 |
| 建物       | 15,871,457  | 19,166,875  | △ 3,295,418 | その他の積立金         | 5,547,701   | 5,102,049   | 445,652     |
| 構築物      | 1,349,199   | 1,625,389   | △ 276,190   | 修繕積立金           | 5,547,701   | 5,102,049   | 445,652     |
| 機械及び装置   | 1,898,964   | 2,586,430   | △ 687,466   | 次期繰越活動増減差額      | 113,456,838 | 101,999,606 | 11,457,232  |
| 車両運搬具    | 2,034,942   | 1,848,014   | 186,928     | (うち当期活動増減差額)    | 11,902,884  | 2,563,456   | 9,339,428   |
| 器具及び備品   | 1,295,413   | 1,368,311   | △ 72,898    |                 |             |             |             |
| 権利       | 164,500     | 164,500     | 0           |                 |             |             |             |
| ソフトウェア   | 112,200     |             | 112,200     |                 |             |             |             |
| 修繕積立資産   | 5,547,701   | 5,102,049   | 445,652     |                 |             |             |             |
| その他の固定資産 |             |             | 0           | 純資産の部合計         | 136,340,102 | 127,657,036 | 8,683,066   |
| 資産の部合計   | 153,124,421 | 147,586,332 | 5,538,089   | 負債及び純資産の部合計     | 153,124,421 | 147,586,332 | 5,538,089   |

## IV 各種委員会報告

### 1 職場内研修委員会

#### 法人内開催研修

| 月  | 日  | 対象   | 研修名          |
|----|----|------|--------------|
| 6  | 20 | 新人職員 | 新人職員研修       |
| 11 | 20 | 全職員  | 法人全体研修 事業所発表 |
| 2  | 16 | 全職員  | テーマ別研修       |

法人では、利用者の尊厳・自立に向けた支援の考え方を習得し、福祉の専門性に基いたサービス提供及び社会人・組織人としての業務遂行能力の向上の為、OJT や OFF-JT により体系的に育成研修を進めている。今年度はコロナ感染予防を徹底し、全ての研修を対面で開催した。法人全体研修では、20 周年記念事業として発行した「羅針盤」の理念と宣言に照らし合わせながら、なごみの郷として、また支援者として大切にしたいことを意見交換し、意識を高めた。また、令和 4 年度は新たな取り組みとして、事例を通したテーマ別研修を行い、部署を越えて支援者としての向き合い方を各々が主体的に話し合った。次年度も必要な研修ニーズを踏まえ、職員の主体性をより重視した研修を進める。

(文責：中村)

### 2 虐待防止等委員会

なごみの郷職員として権利擁護等の意識を高め、虐待防止や身体拘束等適正化につなげていくことを目的に、年 3 回委員会を開催し防止に向けた取り組みを今年度も実施した。委員会や虐待マネージャーを中心に、各職員に通報の流れや仕組みの認識、現場の現状の把握、虐待防止等に向けた早期発見と迅速な対応を共有した。また年度末には、県の虐待防止研修の復命研修を法人内で実施し、虐待を起こさない職員としての責務や虐待を起こさないためにどのような取り組みが必要かを学び、意見交換し意識を高めた。

(文責：山口)

### 3 学生実習

#### (令和 4 年度こまつ大学実習概要)

公立小松大学の精神保健看護実習の受け入れを令和 4 年度も行った。「対象者を全人的に理解するために、病気や障害に由来する否定的なイメージや偏見をもたずに、人権や権利を尊重した倫理的な態度で対象者と接する能力を養う。さらに、精神に障がいをもちながら生活する人々の心身の痛みに共感できる感性を養う」を目的に、COVID0-19 の感染対策を行いながら就労支援センターつばさ、能美地域活動センターはまかぜ、能美地域活動センターはまかぜ山口分場、地域活動センターくろゆりの 4 事業所での 3 年ぶりの臨地実習となった。1 週間に各事業所 3～4 名の学生を 3 週間に渡って受け入れた。全 12 グループの学生が自分たちで考えた「利用者と 1 時間語り合うプログラム企画」を実習中に 1 回行うことで、利用者、学生双方で話しやすい空気ができ、お互いにより深く関われる機会となっていた。実習の振り返りでは、小松市の 2 事業所は近くにあることから学生が 1 事業所に集合して振り返りを行い、能美市の 2 事業所では移動に時間を要する為、Teams を活用してオンラインで振り返りを行った。振り返りの中で、最初は緊張したけど思ったように関わられた、座る場所を考えて座った、自分のこ

とを話した方が話が弾んだ等、学生が目的を意識して利用者とどう関わろうかと試行錯誤した様子を聞くことができ、その試行錯誤が次の話に広がり、地域住民として生活する当事者への理解を深める実習になったと思う。

来年度もより実りのある実習となるように、精神に障がいのある方への理解を深めて頂けるように創意工夫をしていきたいと思う。

(文責:江端)

## V その他

### 1 研修・各種団体会議への出席（令和3年4月～令和4年3月）

| 月 | 日             | 研修・会議名                                | 主 催              | 出席数 |
|---|---------------|---------------------------------------|------------------|-----|
| 5 | 30、<br>6/6    | 令和4年度障害施設初任者研修                        | 社会福祉法人石川県社会福祉協議会 | 1   |
| 6 | 2             | 令和4年度生活困窮者自立支援制度担当者研修会（ZOOM 配信研修）     | 石川県・石川県社会福祉協議会   | 1   |
|   | 10、16         | 令和4年度障害施設中堅職員研修<br>ZOOM 配信研修          | 社会福祉法人石川県社会福祉協議会 | 2   |
|   | 27～<br>9/26   | 令和4年度 対人援助技術講座<br>（ZOOM 配信研修 合計6日間）   | 社会福祉法人石川県社会福祉協議会 | 1   |
| 7 | 8、14          | 令和4年度石川県強度行動障害支援者養成研修（ZOOM 配信研修・集合研修） | 社会福祉法人石川県社会福祉協議会 | 1   |
| 8 | 1             | 令和4年度 高次脳機能障害支援担当者研修会                 | 社会福祉法人石川県社会福祉協議会 | 1   |
|   | 5             | 令和4年度 ひきこもり相談・支援者研修会                  | 石川県こころの健康センター    | 2   |
|   | 19・23         | 令和4年度 障害施設中堅職員研修                      | 社会福祉法人石川県社会福祉協議会 | 1   |
|   | 26            | 令和4年度石川県サービス管理責任者等更新研修                | 社会福祉法人石川県社会福祉協議会 | 1   |
| 9 | 9             | 令和4年度 石川県サービス管理責更新研修                  | 社会福祉法人石川県社会福祉協議会 | 1   |
|   | 8.9           | 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程中<br>堅職員研修（第2回）     | 社会福祉法人石川県社会福祉協議会 | 1   |
|   | 12            | 令和4年度 ひきこもり相談・支援者研修会                  | 石川県こころの健康センター    | 3   |
|   | 12、13         | 令和4年度石川県強度行動障害支援者養成研修（実践研修）           | 社会福祉法人石川県社会福祉協議会 | 2   |
|   | 15、16         | 令和4年度石川県相談支援従事者初任者研修（講義部分のみ）          | 社会福祉法人石川県社会福祉協議会 | 1   |
|   | 9/22～<br>12/1 | 令和4年度発達障害者等相談支援従事者育成研修（実践研修） 合計3日間    | 石川県発達障害支援センター    | 1   |
|   | 15、<br>10/中   | 令和4年度就労支援員・就労準備支援事業従事者養成研修            | 社会福祉法人全国社会福祉協議会  | 1   |
|   | 27            | インボイス制度対策セミナー                         | 小松商工会議所          | 2   |

|    |                    |                                          |                       |   |
|----|--------------------|------------------------------------------|-----------------------|---|
| 10 | 19                 | 令和4年度ひきこもり相談・支援者研修会<br>「親なき後の備え」ZOOM配信研修 | 石川県こころの健康センター         | 1 |
| 11 | 1                  | 就労支援実践研修 発達障害コース                         | 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 | 1 |
|    | 17、<br>18、<br>12/8 | 令和4年度石川県サービス管理責任者等基礎研修                   | 社会福祉法人石川県社会福祉協議会      | 1 |
|    | 18                 | 食品衛生責任者研修会                               | 小松能美食品衛生協会            | 2 |
|    | 23                 | 令和4年度高齢者施設等業務継続計画策定研修                    | 石川県健康福祉部障害保健福祉課       | 2 |
| 12 | 1～12               | 令和4年度石川県障害者虐待防止・権利擁護研修                   | 石川県健康福祉部障害保健福祉課       | 1 |
|    | 11                 | 発達障害を学ぼうデー2022                           | 発達障害者支援センターパース        | 2 |
| 1  | 12                 | 2022年度障がい者の働く場パワーアップフォーラム                | 公益財団法人ヤマト福祉財団         | 1 |
| 2  | 4                  | 発達障害とゲーム・ネット・スマホ                         | 石川県発達障害支援センター         | 1 |
|    | 9                  | 令和4年度南加賀管内特定施設等調理従事者研修会（ZOOM）            | 石川県南加賀保健福祉センター        | 1 |
|    | 13                 | 令和4年度社会福祉法人会計実務者決算講座                     | 全国社会福祉法人経営者協議会        | 1 |
|    | 14, 15             | 令和4年度石川県サービス管理責任者等実践研修                   | 社会福祉法人石川県社会福祉協議会      | 1 |
|    | 21                 | 令和4年度石川県成年後見セミナー                         | 石川県（健康福祉部厚生政策課）       | 1 |
| 3  | 15                 | キャリア・コンサルティングセミナー「基礎理論コース」               | 一般社団法人 雇用問題研究所        | 2 |
|    | 1                  | 公開講座「防災・BCP訓練体験セミナー」                     | 損害保険ジャパン株式会社          | 2 |
|    | 6                  | 令和4年度石川県医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修         | いしかわ医療的ケア児支援センター      | 1 |



## 2 関連団体への参加

令和5年4月1日現在

| 氏 名     | 関係団体                                                                                                                                              | 職名                                                            |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 荒田理事長   | 能美市自立支援協議会<br>社会福祉法人能美市社会福祉協議会<br>のみ社会福祉法人連絡会<br>能美市成年後見地域連絡協議会<br>認定 NPO 法人えんがわ                                                                  | 委員長<br>監 事<br>副会長<br>委 員<br>理 事                               |
| 高田支援部長  | 小松市社会福祉協議会<br>第三次能美市地域福祉活動計画評価委員会<br>能美市ボランティアコミュニティ活動支援センター運営委員会<br>のみ社会福祉法人連絡会<br>・研修専門委員会                                                      | 評議員<br>委 員<br>委 員<br>幹 事<br>委 員                               |
| 瀬戸支援部次長 | 小松市くらし安心ネットワーク協議会<br>・いのちと心の部会                                                                                                                    | 委 員                                                           |
| 堂前支援部次長 | 能美市障害者自立支援協議会<br>・コア会議<br>・運営委員会<br>・相談支援事業所連絡会<br>・事業所連絡会通所系<br>相談支援専門員協会 研修企画<br>相談支援従事者研修初任者研修<br>相談支援従事者研修主任者研修<br>能美市虐待防止委員会<br>石川県災害福祉派遣チーム | 委 員<br>委 員<br>委 員<br>事務局<br>企画委員<br>企画委員<br>担 当<br>委 員<br>会 員 |
| 中村支援部次長 | のみ社会福祉法人連絡会<br>・ふれあい弁当にかかる専門委員会                                                                                                                   | 委 員                                                           |
| 金谷 葉月   | 南加賀就労支援強化連絡会 ネットワーク推進委員会                                                                                                                          | 委 員                                                           |
| 北島 千裕   | 小松市障害者自立支援協議会 テーマ別検討会                                                                                                                             | 委 員                                                           |
| 江端 安代   | 南加賀就労支援強化連絡会 クローバー制作委員会                                                                                                                           | 委 員                                                           |
| 南出 真里江  | 能美市障害者自立支援協議会事業所連絡会                                                                                                                               | 委 員                                                           |
| 中西 雅恵   | 小松市障害者自立支援協議会<br>・運営委員会<br>・相談支援事業所連絡会<br>・精神障がい者等地域生活支援検討部会                                                                                      | 委 員<br>委 員<br>委 員                                             |
| 土山 信英   | 小松市障害者自立支援協議会<br>・相談支援事業所連絡会<br>・医療的ケア児等コーディネーター連絡会                                                                                               | 委 員<br>委 員                                                    |
| 西本 美由紀  | 能美市障害者自立支援協議会<br>・相談支援事業所連絡会<br>・事業所連絡会通所系                                                                                                        | 委 員<br>事務局                                                    |
| 松本 里絵   | 小松市障害者自立支援協議会<br>・夢や運営委員会 ・生活支援連絡会                                                                                                                | 委 員<br>委 員                                                    |



### 3 なごみの郷苦情解決第三者委員

#### 令和4年度活動報告

| 月                          | 訪問先  | 訪問内容 | 相談形式と人数 |    | 苦情 BOX<br>電話 等   | 計人数 |
|----------------------------|------|------|---------|----|------------------|-----|
| 4                          | なごみ  | 通常訪問 | 個別相談    | 4  | 苦情 2 1           | 5   |
| 5                          | くろゆり | 通常訪問 | グループ相談  | 7  |                  | 7   |
| 6                          | はまかぜ | 通常訪問 | グループ相談  | 6  |                  | 6   |
| 7                          | 山口分場 | 通常訪問 | グループ相談  | 3  |                  | 3   |
| 8                          | なごみ  | 通常訪問 | 個別相談    | 8  | 苦情 2 1<br>スタッフ 1 | 10  |
| 9                          | くろゆり | 通常訪問 | グループ相談  | 8  |                  | 8   |
| 10                         | はまかぜ | 通常訪問 | グループ相談  | 6  |                  | 6   |
| 11                         | 山口分場 | 通常訪問 | グループ相談  | 2  |                  | 2   |
| 12                         | なごみ  | 通常訪問 | 個別相談    | 4  |                  | 4   |
| 1                          | くろゆり | 通常訪問 | グループ相談  | 10 |                  | 10  |
| 2                          | はまかぜ | 通常訪問 | グループ相談  | 8  |                  | 8   |
| 3                          | 山口分場 | 通常訪問 | グループ相談  | 3  |                  | 3   |
| 相談人数総計 72 人（内苦情 22、スタッフ 1） |      |      |         |    |                  |     |

#### （今年度の活動と次年度の展望）

- ・平成17年（2005年）以来、今年度で18年目の活動となった。
- ・苦情解決第三者委員である井村千里、北岡和代の2人で活動を行った。
- ・山口分場、はまかぜ、なごみ、くろゆりへの定期訪問活動を行った。
- ・山口分場とはまかぜは希望者のみが集まってのグループ相談、くろゆりはプログラムに組み込まれた活動、なごみはメンバーによる任意に応じる形式で行った。  
その中でもくろゆりとはまかぜの活動が活発であった。
- ・COVID-19による影響はあったが、訪問をキャンセルは1回もなく、年間を通して通常訪問ができた。
- ・令和4年度（2022年）から苦情・相談BOX等は事業所管理へ移行し、必要に応じて報告を受け相談にのった。
- ・次年度も、理事長の囑託を受けて、同じ委員2名で同様の活動を継続する予定である。

（文責：苦情解決第三者委員 北岡）